

# て

て …て【終助詞】【格助詞】して下さい してくれ  
(南)

て(手)【名詞】手段 方法 [会話] どんな偉い人でも 死んでいく 言う、テは持っとなね (持っているのです)。

て(手)【名詞】それを行う人 聞きテ 見テ [会話]  
今日は 葬式の カカエテな (が) のおて、モチテな (が) のおて (無くて) 言うて、テ、付ける。して貰う人な、カカエテ貰う人言わんとなあ (言わずに)、カカエテや、モライテ (貰い手) や キキテや (だ) カキテや、言うて、書いてくれる人 言や (言えよ) ええんけど (よいのだが)、カキテや 言うて、後で、テ、つけんのなあ (つけるのです)、してくれる人な。

て(出)【名詞】1) 仕事に出た日数 2) 物や人の出どころ

て【格助詞】1) 文末について相手に問い掛ける意を表す 2) 動詞、形容詞などについて理故、原因を表すだから (伊賀地方)

てあい (てあひ) (手合)【名詞】1) 相手の倒語 同類の人や物 連中 仲間 一緒に行動する相手 2) 人者 やつ [会話] 1) あのテアイな (が) 言う 相手を言う。あのテアイは ほん (本当) どもならんねてや (どうにもならないのだ) 言うて。あの人言う事あのテアイな (が) すこおて (狡くて) とか ええ (いい) とか、わり (悪い) とか 言う時ん (に)、その人の名前言わんと (言わずに)、あのテアヤ (手合いは) まあ 言う時な (が) 有るわい (あります)。そやけど (それだが) テアイ 言うて 使う時は わり (悪い) 事の方で ええ (よい) 事は よけ (あまり) 使わせん (使いません)。なんやら (何か) 好かん (嫌な) 人な (が) なんやかや (何や彼や) 言うて来ると、あのテヤイ な (が) 言う事 見よまあ (見なさい) 言うて、なまい (名前) 言わんと (言わずに) あの テアイな (が) 言うて。ちよいと (少し) 嫌いなよおな時ん (に) 使う言葉やなあ (です)。

てあい 手で指し示す事 手でする合図 (志 (布施田)、南) [会話] どいらい (大きい) のを もろて (貰って)、ちっちゃあい (小さい) の (のを) もろて 言うて、話しても テアイも混ぜてする人な (が) 有るよって (から)、あやまあ (彼) テアイ えてこい

ねてわ (得意なのだ) 言うて、何でも テアイ であるにげ (人間・人) な (が) 有るわい (有ります)。それは てえ (手) で 諸々 (あらゆる事) を 真似して 喋る人な (が) あるなあ。あやまあ (彼は) テアイ えてこい (得意) やてや (だ) あんな (彼が) 喋って来たら 言うて。

てあい (てあひ) (出合)【名詞】1) 偶然に合う事 2) 男女の密会 3) 有り合わせ [会話] 1) デアイ ガシラ に言うて、てあう 事を、デアイ なあ (です)。  
2) 男とおなご (女) のデアイ、デアイ して、言うて、よお (よく) 言うやんかい (言います)。

てあい (てあひ) (出合)【名詞】地域の共同作業 (志、鳥、四、鈴市、安、津、松、多、上、阿、張、名、度、伊)

てあいがしら 出合ったその時

てあいもん (てあひもん) (出合物)【名詞】1) 欲しがっていた所に折よく間に合う品物 2) 有り合わせ物 [会話] 1) デアイモン 言うな (言うのは)、なんやんかや 売りん (に) 来た時ん (に) こやまあ (これはこれは) デアイモンやなあ (だ) おや (俺は) これ こおて (買って) 来たんけど わいた (お前は) どおどい (どうですか) とか 言う時ん (に)。こや (これは) デヤイモン で おや こおて 来た 言う時な (が) 有るやんかい (有ります)。これを おや (俺は) 見てしたや (見たら) ええなあ (いいなあ) 思て (思って) こおて 来たけど わいと (お前) 欲しけりや (ければ) やるわい (あげます) 言うて。デアイモンや (だ) 言うて、欲して (欲しくて) 言うて する時、デアイモン な (が) 有って 言うて。

てあう (てあふ) (出合)【自ワ五】1) 面会する (上、阿) 2) 行き会う 行き当たる

てあそび (手遊)【名詞】1) 博打 2) 子供が物に触れ回る事 [会話] 1) テアソビな (が) 過ぎて 言うて、博打 打った とか 麻雀 した とか 碁 や (だ) とか言うのを、テアソビや (です)。テアソビ も なんも (少しも) よおせんし (出来ない) 言う人らも 有る しなあ。テアソビな (が) 過ぎて 言う人らも 有る し。碁 や 博打 や、青丹 (花札) したり 遊び 事する人、おらげ (我が家) の じいさん (爺さんは) テアソビな (が) 過ぎて あい (間・隙) が あったら あいな (あんな) 事 しとる (している) 言うて よお (よ

く) 婆らな (が) 言うやんかい (言います)。2) 子供らな (達が) なんやかや なぶって (触って) すん (する) のも テアソビ 言うけどなあ。テアソビ すんなまあ (するな) 言うて。そして なぶると てちぶ すんな (するな) 言うて。あれ なぶり (触り) これ なぶり したり なんやかや よけ (沢山) 開ける (散らす) と てちぶでまあ 言うて 子供ら (達) わるうのん (叱るのに)。

**てあて (手当) 【名詞】** 1) 給与 又は給料以外、臨時の収入 2) 看病 処置 3) 手段 方法 するべき方法 [会話] 1) テアテ もろた (貰った) 言うて、皆勤すると あや (あれは) テアテ 言うんやわい (言います)。日日詰めて (多く) 行くと テアテもらお (貰おう) 思て (思つて) 休まんと (休まずに) 行ける (行く事が出来る) 言うて。今し (今) で言うて 皆勤の事を 昔や (は) よお (よく) 働いて テアテ もろた (貰った) てやら (とか)、褒美もろたとか。よお 働いたり 日日 (日数) つめたりすると、今し (今) 皆勤賞や (だ) 言うて 貰うのを 昔や (は) テアテもろたとか、気付け (心付け) もろたとか 言うて。2) 看病すん (する) のも テアテな (が) ええもんで (よいで) よおなったんなあ (よくなったのだ) 言うて、テアテな (が) わりかって (悪くて) あやれなあ (駄目だ) 言うて、もっと テアテも してくれやええけど (してくればいいが) 言う人も あるし。テアテええもんで よおなった 言うて 喜ぶ人も あるし、テアテな (が) 手落ちや った (だった) 言う人もあるしなあ。手落ち言うのは 看病な (が) まずい 言う事やなあ (です)。手落ちな (が) あつて 病人も、あのひた (人は) ほん (本当に) よおなるやか (よくなるだろうか) 思たけど (思ったが) あんで (あれで) 看病ん (ん) 手落ちな (が) 有ったんやろ (有ったのでしょ) 言う時な (が) あるわい (あります)。手落ち言うこた (事は) 失敗言う事やわい (です)。

**てあてする** 1) 看病する (鳥 (神島)) 2) 方法を講じる [会話] 1) テアテスル 言うな (のは) 傷の手当したり。看病すんのも (するの) てあてな (が) 足らつたんなあ (なかつたのだ) 言うてなあ。

**であと (出跡) 【名詞】** 嫁の生家 実家 (志 (布施田)) [会話] わしらな (私達) 嫁ん (に) 来た後を おらな (俺の) デアト 言うてなあ。親元 (両親のいる家) の事を デアト 言うなあ (言います)。

**てあぶり (手焙) 【名詞】** 手を温めるのに用いる小さな火鉢の類

**てあらい (てあらひ) (手洗) 【名詞】** 便所 [会話] 便所のテアライ

**てあらい (手荒) 【形容詞】** 扱い方が乱暴である 動作が荒々しい [会話] テアライなあ言うて、あらくたい (粗暴な) 事するとなあ、そげん (そんなに) テアライこと したら うちゃつたられ (壊してしまう) 言うて。やいこい (柔らかかい) もん (物) する時や (は) てやらこお (手柔らかく) すんの (するの) なら ええけど (よいが)、テアロオテ (手あらくて) うちゃつたられ (壊してしまう) 言う時も、有るもんなあ (有ります)。あの人 頼むな (のは) ええけど (よいが)、テアロオテ、なんもかも (すべて) 皆うちゃつたんね (壊してしまうのだ) 言うて、乱暴や (だ) 言う事。

**てあらいおけ 【名詞】** 手洗い桶 木製の浅い桶に足のついたもの 洗面に用いる [会話] きい (木) の 鹽の ちっさい (小さい) よおな おの (の) の、足な (が) たっかい (高い) のを、さんばあしな (が)、ついとんのを (ているのを) テアライオケ。てえ (手) 洗うだけやなしん (でなくて)、顔も あるて (洗つて)。

**であるく (出歩) 【自カ五】** 家を出てあちこちと歩く 遊び歩く [会話] どこやかやい (何処かへ) デアルク まあ言うて。何処やかやい (へ) よけ (沢山) 行く にげや (人間は) あやまあ (彼は) ひがないちにち (一日中) デアルいとんね (ているのだ)、あつちや (あちら) こつちや (こちら) 言うてなあ。

**ていしゅやく (亭主役) 【名詞】** 宴席などで主人の役をする人。ていしゅやく参照 [会話] テイシュヤク たいしよ (大将)。家の亭主も一緒に 座敷でも 上の座い (へ) 座る もな (者は) テイシュヤク言うてな。結婚式やどけ (など) なことおや (仲人) な (が) テイシュヤク やなあ (です)。宴会やどけ (などで) その家の たいしよの代わりをする 支配人をなあ テイシュヤク言う。なんでも (何でも) 一番世話してくれる たいしよお (大将) なあ (です)。座敷の上い (へ) 座ると テイシュヤクん (に) なんの (なるのです)。一番世話する人、家でも てえしゅ (亭主) な (が) 一番世話する訳や、金 かせんで (稼いで) 食わすねよつて (のだから)、家のてえしゅん (に) 例えて、座敷でも、責任持つてくれる人を、テイシュヤクや (だ) 言うてなあ

ていたい(手痛)【形容詞】程度が甚だしいさま 苦痛であるさま [会話] テイタイ 目ん(に) おおた(あった)言うとか、なんやかや(いろいろ)言いつめられたり、当てこすり(皮肉)言われたり、くちいじめ(口で苛められる)しやれる(される)事を言うんやろなあ(言うのでしょう)。どいらい(大変な)めえ(目)も する訳や(で) ねえけど(無いが)口でいためる(痛める)事 言うんやろなあ(言うのでしょう)

ていっぱい(手一杯)【名詞】1) 精一杯 一生懸命 2) 沢山 3) せいぜい [会話] 2) テイッパイ 広げて言うて、商売 よお(よく)広げると テイッパイ 広げて、失敗 食うて言うて よお言うやんかい(よく言います)。沢山言う事やなあ(です)。1) 一生懸命して来た事も テイッパイして来た言うて テイッパイ伸ばして 何か取る 言う時も テイッパイ伸ばせなあ(伸ばしなさい) そや(それ) 言うて、テイッパイ伸ばしたけど たらわせん(届かない)とか。

ていらず(手不入)【名詞】1) 手助けしなくともよい(手不要)簡単な事 2) まだ一度も使用していないもの [会話] 2) なんも(何も) いろわせん(触らない)事なあ。1) テイラズ 言うのは、なんも てえ(手)を いれんでも(入れなくても) 出来るとか 出来とる(出来ている)とか 言う事やろなあ(でしょう)。テイラズ 言うな(言うのは) 手間いらず 言う事やよって(だから)。

…ていらん していらん

でいり(出入)【名詞】普段から親しくその家に入出入りしている人 交際

でいりぐち(出入り口)【名詞】出入りする所 玄関 又は裏口

ていれ(手入)【名詞】修理 修繕

てうちかた【名詞】手を回してやっど届く背中中の左右上方 [会話] てえ(手) な(が) 一杯 たらうとこ(とどく所)、テウチカタ 言うやんかい(言います)。テウチカたい やいと(灸) 焼いて。テウチカたい(へ) 灸 焼いとらんもん(ていない者)と 旅すんな(するな) 言うて。テウチカタわ 急所やもんで(なので) それ 焼いとる(ている) 人はなあ 病気な(が) 出やせん(出ない) 言うことやわい(です)。

てえ(手)【名詞】手 てが二拍になった語(志(布施田、鶴方、神明、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、員、三、鈴郡、鈴市、亀、一、松、多、阿、張、度、伊、北、尾、南) [会話] テエ 言うねよってん(言うの

だから)、手 言やええ事ん(言えばよいのに)。

…てえ【接尾語】して下さい [会話] これ シテエ(下さい) 言うてな、してくれえ 言うてな、してもらう時 テエ 言うてな して下さい 言うのを、シテエ 言うの(のです)

…でえ【接尾語】動詞について行う、するの意を表すぞ(志、南、熊) [会話] 行くデエ言うて、行て来たんデエ(来ました)、言うて。此れ、もてくデエ(持って行きます) 言うたりな。その事を、します言うのを、もお帰ります言うのを ま いくデエ(行きます) 言うて 来たのをなあ 今し(今) 来たデエ 言うてな、した言う事を、デエ 言うねやろなあ(言うのでしょう)。

てえいっぱい 1) 一生懸命(志(布施田)) 2) せいぜい ていばいに同じ 3) 沢山 [会話] 1) 今日 は まあ、働いて テエイッパイ やったなあ(だった) 言うてな。いっしょけめ(一生懸命) できて、よさ(夜) 迄かかって テエイッパイ やった(だった)。

…てええ【接尾語】して下さい 女性言葉 てえな 参照 [会話] おなご(女)の言葉やなあ(です)。これ食うたテエエ(食べてしまっして下さい)とか、持てテエエとか(持っていつて下さいとか)。

てえか(ていか)【名詞】定価 商品の定められた売値

…てえか と言うのか [用例] なっちゅう テエカ判らん(何と言うのか判らない)。

てえがある 仕事するのに十分な人員が揃って居る。

てえかえす 1) 手入れする 干してある物に手を入れて裏表を反対にする 2) 裏切る [会話] 1) 荒布干しても 早よ(早く) 裏返せ、テエ(手) カエサナ(なければ) はざんわれ(駄目だ) 言うて、裏と表と干してあったの(のを)。

てえがない 人手が足りない [用例] テエナ ナイので、仕事な 抄らせん(抄らない)。

てえかやす 1) 手入れする 2) 裏切る。てえかえすに同じ

てえきあつ(ていきあつ)【名詞】1) 低気圧。大気圧が周囲より低い所 2) 不機嫌なさま。後で荒れる事より

てえきる 絶交する 関係を絶つ 交際をたつ 縁をきる(熊) [会話] テエキッタてわれ(そうだ)、あの人な(が) あんまり(あまり) なんやかや(いろいろ) 言うもんで(ので)、あいな(あんな) 人と 交際 出来やへん(出来ない)、言う時も有るしなあ。てえしゅ(亭主) と、別かれん(る) のも、まあ テ

エキッタンテナイ (そうだ) 言うてな、おじ (情夫) と おば (情婦) と、わかれん (る) のなあ テエキッタンテワイ (そうだ) あいら (あの人達) 言うてな 友達と絶交する時も 皆 別かれる時はなあ テエキル言うね (言うのです)。あげな (あんな) にげ (人間) と テエキラな (なげれば) はざんわれ (駄目だ) 言う時も 有るやんかい (有ります)。あくにん (悪人) で する時や (は)。

てえくらがり 【名詞】 手暗がり、手の影になって 暗くなる事 [会話] てえ (手) の影ん (に) なる とこ (所) な (が) 有るやんない (でしょう)、こっちや (こちら) から ひい (日) な (が) 照って来ると、こっちや てえ (手) で 暗がり (暗い) やんない (でしょう)、そいな (そんなのを) テエクラガリ。

てえけつあつ (ていけつあつ) 【名詞】 低血圧 血圧が正常より低い事

てえこ 【名詞】 大根 [会話] てえこん言うのは蓮根 デエコ言う時は大根

てえこん 【名詞】 蓮根 蓮の地下茎 [会話] デエコ、大根とはねる 言葉も はねずして いなん (要らぬ) ごんぼ (午旁) や ちゃんぶくろかな言うて、撥ねんで (なくて) ええのん (よいのに) ごんぼ (午旁) 言うて、ちゃんぶくろ言うて、茶袋 いや (言えば) ええのん、大根 言うてな こんを 言わんと (言わずに) だいこ 言うやんない (言うでしょう)。デエコン言うのは 蓮根 れえこん (蓮根) 言うねや (言うのです)。れんこん 言う時は 蓮で、てえこ 言う時は 大根、はなぼら (鼻の孔) な (が) 上向いとる (ている) にげ (人間) や (は) れえこんばな やなあ (だ) 言うて。

てえさい (ていさい) 【名詞】 体裁 外から見た時の感じ 様子 外観 [会話] テエサイ 作ってまあ言うて。テエサイ ばっか (ばかり) よおても (よくても) 言うて。目先だけの事をなあ 飾って 頭あ (は) なんも (全く) はざん (駄目) で したんのを (しているのを)、猫な (が) はこ (大便) 隠したよおな事して言うて。猫な (が) はこ たれると (すると) ちよいと (少し) 覆せて したくやんない (しておくでしょう)、そやもんで (それで) なんかしても えごつと (完全に) せんと (しないと) たいがい (大概) に したくと (しておく)、あや (あれ) 猫な (が) はこ 隠した よおな事して言うてな。テエサイ つくんなよって (作るのだから) その ばあ (場) だけ ええ (よい) 顔する にげ (人間) をな

あ。テエサイ言うのは 外から 見た感じだけで 中身な (が) 無い訳や (です) しなもん (品物) こおても (買っても) うわべ (表面) な (が) じっば (立派) なけどなあ (だが) 言うて えごつと (よく) 見ると ざつふう (粗雑) して有って おおた こやま (これは) テエサイ ばっか (ばかり) の 仕事やなあ (だ) 言うて。見ためえ (目) な (が) ええ (よい) よおん (ように) して あんのをなあ (有るのを)。

てえさいぶる 【自ラ五】 外見をよく見せようと振舞う。

てえし 【名詞】 家長 主人 亭主 (志)

てえしやば 【名詞】 停車場 駅 [会話] きさらぎ 伊勢のなあ テエシヤバの 横ん (に) ある店で 売つとんねけどなあ (売って居るのだが)。

てえしゅ (ていしゅ) (亭主) 【名詞】 1) 主人 (阿) 2) 酒宴や法事などの時、その中心になる人 てえしゅやく参照 3) 自分の夫 [会話] 3) 家の 旦那、テエシュ。自分の夫を テエシュ言うんやんかい (言うのです)。おらげや (俺家は) テエシュ (亭主) 開白で 口 ばっか (ばかり) えろおて (大変で) なんも (少しも) ならんとおつて (役に立たないのに) 言うてな 威張らな (なげれば) 男や (で) ないおもて (思つて) 威張る ばっかで 言うて、よお (よく) 怒るやんかい (怒ります)

てえしゅやく (亭主役) 主役 亭主役 宴席などで、その家の主人でなく親戚や物慣れた人が当たる [会話] テエシュヤク言うのなあ (のです)。床の間へ座ると テエシュヤクや (だ) 言うし、家の主人も 亭主開白、床の間へ座って。言うと (言えば)、その会場の大将、今し (今) で言うと 幹事さんや (です)。床の間の間い (に) 座ると テエシュヤクみたよななあ (のようだ) 言うやんかい (言います)。普通の座敷でも床の間の間い (に) 座ると テエシュヤクみたよななあ 言うて。結婚式やどけでも (などでも) わがと (自分) 始めて 三福一対 (祝い歌) でも、テエシュヤク な (が) うとて (歌つて) するし、しまいにや (終いには) さいげん結ぼや (終わりにしましょう) 言うて 皆ん (に) じよおほお (両方) から してきて さいげん。

てえずんばい 【名詞】 椿の葉が手の形に変形した物 ずんばい 参照 [会話] テエズンバイ てえ (手) みたいん (みたい) に 広がつとんな (ているが)。

てえそお (ていそう ていさう) 【名詞】 貞操 婦人としての正しい操 男女が互いに異性関係の純潔を守る

こと [会話] テエソオ 操 守らな (なければ) 言うて。

てえだいとる 傍観している 手伝わない [用例] この忙しのん (のに) テエダイテ 見とんね (見て居るのだ)。

てえたらく (ていたらく) 【名詞】 かつこう 風姿 特に見苦しい時に使用する テイ (体) たるの延 (大言海)。

てえち (ていち) 【名詞】 定置 定置網の略 一定の位置に網を張り魚群を道網で袋の中に導き袋の部に入った魚を獲る漁法 [会話] テエチ。テエチアミ てや (と云えば) おおしき (大敷網) の事をなあ、テエチアミ言うの (のです)。

てえでん (ていでん) 【名詞】 停電 電気が一時的にとまる事 そのために電灯が消えたり電車が止まったりする事を言う [会話] 電気な (が) 消えてくの (て行くのを) テエデン、電気な (が) けえたれ (消えた) 言うてな。テエデンで まっくらがり やれ (だ) 言うの (のを) 電気な (が) けえて (消えて) 真っ暗がり やれ 言うてな

…てえと 1) と言うて居る 2) と言うと [用例] 2) そいな (そんな) 事 言う テエト とおやんに怒られんど (お父さんに怒られるぞ)。

…てえど と言うて居るぞ [用例] のおな (お前が) もてた (持って行った) 言う テエド。

てえとお (ていと、ていたう) 【名詞】 抵当 自分の権利や財産を金銭を借りた時、貸し手に保証として与えること、又その物 [会話] テエトオ に 入いっ とんねてわれ (ているそいだ) あの家や (は) 言うやん かいなあ (言うで有りませんか)。金 かっ (借りて) かたえ (抵当) に 此の家 おこせ (寄こせ) 言う約束してなあ 書いたると (てやると) あの家 テエトオン (に) 入れて 金 かつたんでわれ (借りたそうだ) 言うて。今し (今) でも ぎんこや (銀行) でも 財産な (が) なけな (無ければ) 借りれや せんねよってな (借りれないのだから) その 値打だけの ぜんより (銭より) 借さんねよってんなあ (借さないのだから)

…てえな。…てえなあ して下さい 女性言葉 てええ 参照 (志、鳥、一、松、伊) [会話] これ シテエナ、これ したテエナ 言うて したテエナ とか やっ テエナ (して下さい) とか 言うて、てえ つけんの なあ (付けます)。やってくれえ (下さい) 言うのを、やっテエナ 言うの (のです)。やったてくれ (下

い) 言や (言えば) ええのん (いいのに)、やってエナ、やって言うて。おなご (女) の 言葉やなあ (です)。

てえなある 人手がある 仕事するのに十分な人数が揃っている [会話] 仕事する にげ (人間) な (が) よけ (沢山) 有る言う事をなあ テエ (手) ナ (が) よけ (沢山) アル言うてなあ。あの家や (は) テエナ ヨケ アッテ言うて はたらきど (働く人) な (が) よけ 有る、人手な (が) なんも (少しも) の おて (無くて) 言うの (のは) てえ な の おて 言うの (のです)。

てえなかかる 1) 手助けが必要だ 2) 面倒だ (志 (布施田)) [用例] 2) テエナカカル 仕事や なあ (だ)。

てえながになる 手が凍えて動かなくなる

てえなきく 手仕事が上手である 器用だ [会話] テエナキク、裁縫よお (上手に) する。てごこし (手先をよく動かす) する にげ (人間) なあ (です)。

てえなねえ 人手が足りない

てえなねばい 手ですることが遅い [会話] テエ (手) ナ ネバイ 言うと 手な (が) おっそい (遅い) 手ぬるい (手が進まない) 事。

てえな はなれる 1) 完成する 2) 子供の養育が終わる てなはなれる参照

てえなはやい 1) する事が早い 2) すぐ暴力を振う 3) 盗む

てえね。てえねえ 【名詞】 丁寧 てえねんと同じ (桑市、員、三、鈴郡、鈴市、津、一、多、伊、南)

てえねん (ていねい) 【名詞】 丁寧 注意深く念入りで有る事 動作や言葉が礼儀正しく心がこもっている事 又そのさま (志、鳥、鈴市、津、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南) [会話] テエネン言う事は 言葉遣いでも テエネンに 言や (言えば) ええんけど (よいが)、ここの人ら (達は) ぎっぱ (雑把・乱雑) で、テエネンな言葉 よお使わんのなし (使えないのですし)、ええ (よい) 言葉 使うと テエネンな言葉 つこて (使って) 言うて 言うし。なんでも 物を 大事ん (に) する事を テエネンにするとか、仕事 綺麗にすん (する) のを テエネンな (だ) 言うて、テエネンな仕事してなあ言うて。丁寧にする言うのを テエネンな 言うのなあ。そこら (その辺) 綺麗にする事も テエネンなし なあ (ですし)、あのひた (人は) テエネンで 家も じっぱん (立派に) しとる (している)。

**てえねん** (ていねん) **【名詞】** 定年 官公庁、会社などで従業員が退職するように決められている年齢 [会話] 今しゃ (今は) テエネンや (だ)、テエネンや 言うけど (が)、昔の人ら なんも (少しも) テエネン 言うこと (事は) 言わらった (言わなかった)。よお (よく) 働かだけ 働かれよおったけど (働かれて居たが)、今しゃ いくら いかつうても (健康でも) ねん (年数) な (が) 来ると 働くところ (所) な (が) のおて (無くて)、そやよって (それだから) やすうでも (安くても) だんね (かまわない) よって (から) 使こて (使って) くれ (下さい) 言うて。テエネン過ぎると。六十一、や二では まだわかいしゅ (若い衆) みたよん (のように) しとるもんなあ (しています)。しんしょざかり やんかい (です) まだ そいな (そんな) じぶあんなあ (頃は)、息子に、嫁 もろたてて (貰っても) その後の しりのごい (後始末) せな (しなければ) はざんしなあ (いけないし)、そやのん (それなのに) その じぶん (頃) から 職失しのたたら (失しなってしまうたら)、ま、稼せぐ とか (所は)、ねえもんなあ (有りません)、借金、いやす (返す) ところ (所) い (に) 行かせん (行きません)。

**てえねんしゃ** **【名詞】** 物を丁寧に扱う人 [会話] あの人 テエネンシャで なんもかも (すべて) 大事ん (に) して言うて、てえねん (丁寧) にする人

**てえひろげる** 関係する範囲を広くする 仕事の規模を大きくする 手広くする [会話] なんやかや (何や彼や) 商売しても いくらでも テエ (手) ヒログテ スルと、腹な (が) おっきい (大きい)。

**てえば** (ていば) **【名詞】** 堤防 河川の氾濫や波浪の侵入を防ぐため、河岸、海岸沿いに築く土砂、石、コンクリートなどの構造物 [会話] 波や (とか) 水な (を) 防ぐ のにおに (のに) なんか (なにか) かかえ (支へ) やんのをなあ (当てるのを) テエボオ 積まな (なければ) はざんわい (いけない) 言うてな。水や土の かかえ (支え) の事 テエボオ 言うのなあ (です)。堤防 言わんと (言わずに) テエボ 言うにげ (人間) も 有るしなあ。

**てえんおえん** 手に負えない 出来ない (志 (布施田)) [用例] おらの (俺の) テエンオエン 仕事 やなあ (だ)。

**ておくり** 物を手から手へ渡して遠くへ送る事 [会話] テオクリ しょおや (しましょう) 言うて、工場い (へ) 行くとなあ、かなみ (金網) 積んだり すんの

ん (するのに) よいそら よいそら 言うて、てえ (手) から てえ い (へ) うくんのなあ (送るので)、テオクリで やるやんか (しましょう) 言うて、にげ な (が) よけ (沢山) 有ると、テオクリで にして にげ な (が) すけない (少ない) と、足ふん ばつとて (掘げていて) てえ も 一杯なあ して せな (しなければ) はざんでなあ (いけなくて)。家 する (建てる) 時も かあら (瓦) あげんのもなあ (あげるのも)、おろすのおも (のも) テオクリでなあ。

**ておけ** (てをけ) **【名詞】** 取っ手のある桶 水などを汲み入れ手で運ぶのに用いる (度) [会話] テオケ 言うて てえ (手・柄) な (が) かたつぽ 付いとん (のているのです) 風呂桶でも てえ (柄) 付けて、テオケン (に) して 汲みよおったの (汲んで居たのです)。何処の家んでも テオケや (は) あよ おったわい (有りました)。

**ておち** (手落) **【名詞】** 失敗 手続きや仕方などに不足や欠点があること 又その不足や欠点 [会話] テオチ言うな (言うのは) 看病な (が) まずい 言う事や なあ (です)。あの ひた (人は) ほん (本当に) よお (よく) なるやか (なるだろうか) 思たけど (思ったが) あんで (あれで) 看病ん (に) テオチな (が) あ ったん やるなあ (あつたのでしょうか) 言うて、テオチ 言うな (言うのは) 失敗

**ておどり** (てをどり) **【名詞】** 用具を用いないで体だけで踊る踊り 簡単な踊り [会話] 踊り おどん (る) の (のを) テオドリも 上手で 言うやんかい (言います)。道具を 使かわんと (使わずに) 足で拍手 取って てえ (手) あげて。

**ておも** **【形容語】** 手重 動作がのろい

…**ておる** …して居る (北、南)

…**てか** **【接尾語】** そうですか と言うのか 問い返し 接続助詞「て」に係助詞「か」の付いたもの、てで結ばれた文全体に対する疑問を表す。次項 てかい参照 (阿、張)

…**てかい** **【接続助詞】** そうですか 疑問を表す [会話] 今日は祭りやテカイ言うたり、今日は 何々やテカイ 言うて 尋ねる事を テカイ 言うて、そすと (そうすると) 教える ひた (人は) そおやてわい (そうだそうです) 言うね (のです)。今日は祭りやてわい (だそうです) 言うて ほんえ (本当ですか) 祭りか い (ですか) 言うて。

**てかい** **【形容詞】** 大きい 甚だしい (志、桑市、三、上、

張、南、熊) [会話] おっきい (大きい) 事を デカイなあ 言うし、どいらい (大きい) 言うて、あやまあ (あれは) どいらい もんやなあ (だ) 言うて。デカイ言うな (言うのは) よけ (多く) 言わせんけど (言わないが)。

**でかいこと** 大きな事

**てがえいし** 【名詞】 てがえしに同じ

**てがいしょ (手甲斐性)** 【名詞】 手でする動作 1) 勝手しだい 2) 早い勝ち [会話] 1) テガイションダイに 持てて (持っていて) 言うて、断らんと (断らずに) 勝手に 持てくと (持って行くと)、なんもかも (何も彼も) テガイションダイに 持ち出して 言うて。断りもせんと (せずに) わがと (自分) 勝手に持ち出したり すんの (するのを)、テガイションダイ 言うのなあ (言うのです)。

**てがいしょしだい** 1) 手当たり次第 2) 働き次第 (志 (布施田)) [会話] 1) 勝手に わがとら (自分達) すきなよおん (ように) もてくの (持って行くのを)、テガイションダイ言うね。

**てがえし (てがへし) (手返)** 【名詞】 1) 裏、表をひっくり返す事 2) 餅つきの介助 (阿、張、名) [会話] 1) 干してあんの (あるのを) 裏返すの (のを) テガエシ。はやもち (芋と芋粉の団子) や、きんこ (芋の煮切り干し) や、荒布、もお (藻) でも テガヤシ、いったん (一度) 干したの (のを) 又 テガヤシ、めえ (若布) かやさな (ひっくり返さなければ) 下な (が) 湿つとるもんで (ているので) テガヤシも せえまあ (しなさい) 言うて。ちゃあ (茶) も、もおで (揉んで) テガヤシ しといてこな (してこなければ) 言うて。昔や 家で ちゃあ (茶) こさえおったもんで (作って居たので) 茶を 浜い (へ) 干し (とい) (干しておいて) 茶 テガヤシ してこな 言うて 行きおったやんかい (行って居ました)。荒布や めえ (若布) を テガヤシ する人を しりがけ たの (で) (頼んで) 言うて。しりがけも 家ん (に) にげ (人間・人) な (が) 有ると 家の人が するけど、家ん (に) にげな 無いと しりがけ 頼まな (頼まなければ) 言うて。テガヤシ したり なんやかや すん (する) のを 世話 (面倒) する人を しりがけ や (だ) 言うの。裏と表と かやすのお (返すのを) テガヤシ言うね。麦でも 米でも いったん (一度) 干すと こおぼし (穀物を陽射しに当て乾燥させる) や (だ) 言うて すると、ひとくうつ (一区・一区割りずつ) テガヤシ せな (しななければ) はざんや

んない (いけないでしょう)。こねんのお (こねるのを) テガヤシ。

**てかぎ** 【名詞】 鉤に長い柄の付いた物 魚を引っ掛けたりする。

**てがき** 【名詞】 手甲 布で作り腕から手の甲を覆うもの 労働時に手、腕の保護のために用いる てっこう参照 (志 (布施田、立神)) [会話] テガキの事 昔や (は) てっこお (手甲) や (だ) 言よおったなあ (言っている) 居ました。てっきりは これいまでやけど (ここまで (手首) だが) 甲へ 覆せんの (かぶせるのは) てっこお 言うて テガケ 言よおったの (言っている) 居たのです ころは テガケや (です)。

**てがきく** 手仕事がよく出来る、器用だ

**てかけ (手掛け)** 【名詞】 1) 物に手を掛ける所 戸の開閉に手を掛けるところ 2) 情婦 手に懸けて愛するものの意 (志 (浜島)) [会話] 1) テカケ 障子の テカケや (だ) とか、なんやかや 持つのん (の) てえ (手) 掛けるとこ (所) な (が) 有ると テカケ。そやれ (それ) 無いやんかあ (無いぞ) テカケも こさえとかな (作っておかなければ) はざん (駄目だ) とか。重たいもん (重い物) 持つのん (の) テカケ な (が) 有ると ひゅつと 持たれるけど (持てる) が テカケな (が) 無いと 力な (が) いらせんやんない (入らないでしょう)。ずべずべと 落ちてて (落ちていって) そやもんで (しておかなければ) なんでも テカケ しとかな 言うて、テカケ こさえとけよお (作っておきなさい) 言うて。2) 妾さんも テカケ。妾、はなかけ テカケ 言うて、テカケ 持つて あのひた (人) かいしょもん (甲斐性者) や 言うて。

**てがけ** 【名詞】 てがきに同じ 手甲 [会話] てがき や (は) 手甲 言うのなあ。テガケ や (だ) 言うて。今しは (今は) 手甲、足い (に) はくな (履くのは) 脚絆。

**でかけ (出掛)** 【名詞】 1) 出ようとしているところ 外出しようとしている時、でしなに同じ 2) 発芽しようとしているような状態。[会話] 1) デカケになれ (です) ほん (本当) あの人な (が) 来てまあ、喋つとて おそなつたねよお (遅くなつたのです) 言うて。テカケ や (だ) とか、行きがけや (だ) とか言うてなあ。

**てがける (手掛)** 【他カ下一】 世語をする 面倒を見る [会話] テガケル言うな (のは) 世話する事を、あの 人な (が) 仕事な (が) のおて (無くて) おんな (俺

が) まあ くちからくり (職探し) したとかな、口添え したとき、テガケテ えごおと (完全に) したらな (してやらなければ) はざんわれ (いけない) 言うて、世話してやるとか 面倒見たる (見てやる) とか でかしえぎ (でかせぎ) 【名詞】 出稼 (志)

**てかず** 【名詞】 手数 (てすう)。するのに手段の多い事 [会話] テカズ 掛けてまあ言うて てすうの事を テカズ言うて。まあ あんたん (貴方に) テカズ 掛けたなあ (掛けました) 言うて、世話ん (に) になると。世話ん (に) なる事を テカズ掛けた言うて。

**てがたい** 【形容詞】 堅実である。確実である。信用出来る

**てがち** (出勝) 【名詞】 よく出掛けていて留守の事が多い [会話] どこやかや (何処、彼処) 出てばっか (ばかり) おって (居て) 家ん (に) おることな (が) 無いね (のです)。あんた (貴方) 家ん (に) おること (居る事は) 無いなあ言うて 人らな (が) 言うてくると、わしや (私は) デガチや もんでなあ (なので) 言うて。

**てがって** (手勝手) 【名詞】 手で扱う具合

**てがってなええ** 使いやすい [会話] 使いやすい言うの (のを) テガッテナエエ 言うのな (のです)。

**てがってなわり** 使いぬくい

**でかっとる** 飛び出している [会話] デカットル。飛び出しとんねなあ (ているのだ) 言うて、出張とて (飛び出していて) ここななあ (が) 言うて ちよいと 出て来ると ちよいと でばって 来たなあ 言うて。あの家から でばって来て言うて、さいめん (境面) やどけをなあ (などを) へっこんどると (でいると)、こや (これ) こか (ここは) 入りこんどんのん (でいるのに) こや、こか、デカッテ 来とんなあ (来ている) 言うてな。出て来ると でばっとる (飛び出している) 言うて

**てかてか** 【副詞】 光って居る状態

**てがなあがい** 手が長い 盗みをする事 (志 (甲賀)) [会話] テナ ナアガイ。これ (指を鍵に曲げる・盗み) する人、あやまあ (彼は) テナ (手) ナアガイね よってん (長いから) 言うて。テナ (が) ナアガイね よって 引っ張って来て 言うて。

**てがない** 人手が足りない 人が無い 働き手が無い。手 働く人 [会話] 仕事すんのん (するの) に にげ (人間・人) な (が) 無い言う事、テガナイ。仕事な (が) よけ (沢山) あっても するにげ (人) な (が) 無いと テガナイ言うて。人手の足らん事 (不

足している)。

**てがね** (出鐘) 【名詞】 出棺の合図に打つ鐘 (員、松、度) [会話] 葬式の時の デガネ。葬式の時ん (に) デガネ 鳴らすやんない (でしょう)。死んだ言うて知らせ鐘 言うてな、朝 五時頃ん (か) になると てんてん言うて 誰やら (か) 死んだ かして (とみえて) まあ言うてな、鐘な (が) なんねてや (鳴るので) す。知らせ鐘 言うて 朝 はよお (早く)。デガネ 言うて 葬式な (が) 出る前ん (に) おも出るぞお言うて デガネ なあ (です)。若い時や (は) はがね 鳴らしたけど、今度 鳴らすてや (と言え) デガネ やれ (です) 言うて。

**てがねうち** 【名詞】 てがねを打つ人

**てがねえ** てがないと同じ 人手が足りない。

**でかばっとる** 飛び出している 曲がっている

**てがはやい** (手が早い) 1) 仕事が早い 2) 女性と知り合うとすぐ関係する 3) すぐに暴力を振う [会話] 3) テエナ (手が) ハヤイ 言うて じっきん (すぐに) 誰でも 撲りん (に) いたり (行ったり) すんの (するのを) テナ (が) ハヨオテ (早くて)、じっきん (すぐに) 手な (が) 上がって来て 言うて。とと (夫) な (が) 短気で、かか どぼしたり (撲ったり) するやんない (でしょう)。おおた (ああ) あの家や (は) とと (夫) な (が) テナ (が) ハヨオテ (早くて) かか どいらいめ (大変な目) ん (に) すんねてわい (するそうです) 言うて、よお (よく) 言うやんかい (言います)。口で言うより 先い (に) 手な (が) 上がって くん (来る) のを テナ (が) ハヤイ 言うて。口でゆや (言え) ええことん (よい事を) 口で言わん (言わない) 先ん (に) 手から先い (に) どづいてかんまえる (撲ってよこす)。あや (彼は) テナ ハヨオテ (早くて) 言うて。1) 仕事な (が) 早いおも (のもの) テバヤで 言うて。

**てがま** (手鎌) 【名詞】 手に持って草、稲、麦などを刈る鎌 [会話] 鉈鎌、草刈り鎌、草刈り鎌より ちよいと (少し) おっきいのをな (大きいのを) 鉈鎌 言うてな、<sup>なた</sup> 鉈 の代わりするしなあ。ひじき きんな (切るのは) ひじき鎌 言うて ちっちゃいの (小さいのです) テガマは 普通の鎌 草刈りたりする。

**てがまあらん** 忙しい、それをして時間無い

**てがまある** 充分にする事が出来る

**てがやし** 【名詞】 1) 手入れ 表裏をひっくり返す事 2) 餅搗きの時、餅の表裏を返す事 (員、鈴市、安、

上、阿) [会話] 1) テガヤシ頃な (が) あんねてや (あるのです)。二、三日のうちん (間に) ちょいち よいつ (少しずつ) いごかすと (動かすと) ええんけど (よいが)。

**てがやせ**【名詞】手入れ 手入れして表裏をひっくり返す事 てがえし参照

**てがら** (手柄)【名詞】1) 成功 功名 出来映え 2) 手並 腕前

**てがら** (手絡)【名詞】糸を手で捲く事

**でがら**。でがらし。でがらす (出殻)【名詞】茶の葉、だし等の一度出した後の残り (志 (布施田)) [会話] ちゃあ (茶) のデガラシ。茶の出粕 を、おつけ (味噌汁) のだし デガラシや (だ) 言うて 一旦 出したのおを (のを) 後 デガラシや (です)。デガラス 言うて。デガラスやけど (だが) ここい (に) 入れとこかいねえ (いれておきましょうか) 言うて、お茶でも。

**てがらす** (手柄) 1) 他から賞されるような働きをする事 功名をたてること 又、その働き 2) 自慢すること [会話] 1) 磯いて (海女行って) 磯な (海女が) えらかったもので、テガラシヨオッタネ (して居たのです)

**てがらのよおん** 自慢をして居る様

**てがりやか** (手軽)【形容詞】するのにさっさと上手にする。簡単にする てがるいと同義 [会話] てえな (手が) 早いにげ (人間・人) を どいらい (大変) てばしかい。見とると (見ていると) テガリヤカやなあ てばしこおて (手早くて) 言うて 手な (が) 早いにげ を テガリヤカ。

**てがるい**【形容詞】するのに 手ぎわがよい。さっさと上手にする。動作が機敏なさま [会話] さっさとする 早よお (早く) する、テガルイ 手早い言うてな。てえな (手が) 早い にげやなあ (人間は) あや (彼は) なんさしたてて (なにをさせても) てばよお 言うてな、とろい (鈍い) のは てねば。

**てがわり** (てがはり) (手替り)【名詞】仕事の交替 てまがわり (手間替) の意 (方言俗語語源辞典) (松) [会話] テガワリ 人のテガワリに ならな (ならなければ) 言うて、よお (よく) 言うやんかい (言います)。その人 てったう (手伝う) 事を。てつとて (手伝って) する、人の替わりをする事を テガワリ 言うね (言うのです)。

**てき** (敵)【代名詞】他称 彼 やつ やや蔑んで言う 敵様 もと遊里語 遊女から客へ、客から遊女へ 二

人称 三人称 あの人 あいつ (志 (布施田)、三、四、鈴郡、一、伊、北、尾、南、熊) [会話] テキさんな (が) 言うて。なんか (何か) 好かん (嫌な) 事する人な (が) あるやんない (でしよう)。そすと (そうすると) 言うの。あの テキさんな (が) 言うて、なあ (名前) 言わんと (言わずに) いやな人、いやな感じの人を 名指す時に テケさんな、おつて (が居て) 言うしなあ。手合い (奴) 言うのも よお (よく) 似た事やわい (です)。ちょいと (少し) 好かん (嫌な・好ましくない) 人を 言うの。てやいな (が) 言うて。テケさん言うのも ちょいと (少し) がいに (大して) かんす みたよな (のよな) 人を。好かん言うのを さかさまん (に) 言うて かんすや (と) 言うんやわい (言うのです)。“きすと かんすと 一度に来たや (ら) かんす かやして (帰して) きす 泊めた “ 言うて よお 言よおったてや (言って居たものです)。好きなのおと (のと) 嫌いなのおと 一度に来たや、嫌いなの (のを) かやして 好きなの 泊めた 言うて 好きなねよつて (なのだから) それで ええんやろなあ (いいでしょう)。

**てぎ** (手木)【名詞】子供の遊び道具 投げ付けて遊ぶもの (志 (甲賀))

**でき** (出来)【名詞】出来具合 出来た結果

**できあい** (できあひ) (出合)【名詞】有り合わせ すでに出来ている物 粗末な食事 (志 (浜島、布施田)) [会話] 飯 くるとる (食べている) 時ん (に) 人な (が) 来ると、芋飯 デキアイヤ (だ) 食べんかい (食べませんか) 言よおったんなあ (言っていました)。デキヤイヤ 言うてな。芋や (とか) 麦ばっか (ばかり) 炊いとる (ている) やんない (でしよう)、そんでも (それでも) 人な (が) くうとる (食べている) とこい (ところへ) 来ると、世話やくんなあ (のです)。そして そんなまあ (それが) 挨拶 やなあ (です)、デキアイやけど (だが) くわんかい (食べませんか) 言うてな。有りあわせ 言う事やなあ (です)。

**できあがる** (上出来)【自ラ五】酒に酔ってよい気持ちになる

**できあき** (出来秋)【名詞】百姓の収穫時 [会話] 麦とか 芋とか 稲でも なんでも (なにでも) 収穫する時をなあ、デキアキ とか とりあき とかなあ。

**てきき** (手利)【名詞】1) 有能な人 2) 手先の器用な人 (張) [会話] 1) テキキや (と) 言うな (のは)、何でも 偉い人を 利口な人を てえも 早よおて

(早くて)、手で すんのな (するのが) 上手な人を、何でも よお (よく) する人を テキキヤ (だ) 言うの。料理やろと 裁縫やろと (だろと)、なんやろと する にげ (人間・人) を あや (彼は) テキキ でなあ (だなあ) 言うて。

**できぐあい (できぐあひ) できぐわい (出来具合) 【名詞】** 出来上がった様子や調子 出来栄え [会話] デキグワイな (が) ええなあ (いい)、わりなあ (悪い) とか言うてな。仕事な (が) 綺麗に出来るとな、こや (これは) デキグワイな (が) どいらい (大変) ええなあ 言う時も 有るしなあ。わりと、こや (これは) どいらい デキグワイな (が) わりなあ 言うしなあ。

**てきさん (敵様) 【名詞】 【代名詞】** 他称 話し手や相手以外の人を指して言う てき参照 (志、員、三、鈴郡、鈴市、伊、熊、南) [会話] 誰かな (が) 来た 言うのをな、ちよいと (少し) 変な 嫌なよおな 感じの (が) するとなあ、いや (あれ)、ま テキサンも 来たれ (来た) 言うてな、嫌な感じの人を テキサンや (だ) 言うてな

**できし 【名詞】** 歴史 (伊)

**できず (手傷) 【名詞】** 傷 [会話] テキズ受けて言うてな、人に やられると テキズ 受けたよお 言うし、わがと (自分が) すると テキズ してまあ 今日は言うてな

**できぞ 【名詞】** 不男 醜男 [会話] 器量な (が) わり (悪い) 子を見ると、テキゾ みたいななあ (のよう) だ 言うて。

**できそこね (出来損) 【名詞】** 1) 仕上がりが完全でないこと 失敗作 できそこないの訛 2) 身体、能力が劣っている者をあざけて言う語 [会話] 2) あんごし (馬鹿) こおな (子が) 有ると、テキソコネや (だ) 言うし。1) なんでも 仕事 しそこなう (失敗する) と、こや (これは) まあ テキソコネで はざんよお (駄目だ) べけや (だ) 言うてな。はねん (る) のをなあ テキソコネや (だ) 言うてな、なん (に) でも 仕事をな (が) せえこお (成功) せんと (せずに)、うまい事 いからった (いかなかった) のをな、テキソコネや (だ) 言うてな。

**できそこねる** 失敗する (志)

**できだか (出来高) 【名詞】** 出来上がった量 収穫の総量 [会話] 仕事 しただけの のおをなあ (のを) かねめ (金) ん (に) したりなあ みつもん (見積もる) のをなあ デキダカ、えごと (十分) かんじよ

(計算) せえ (しなさい) とかな

**できたてのほやほや** 丁度、出来上がったばかりであること [会話] デキタテノホヤホヤ、こさえたての (作ったばかりの) ほやほやや (だ) 言うてな、作られたてのもん (物) をなあ。着るもん (物) でも こや (これは) 買ったてのほやほやや (だ) とか、こさえたての ほやほや とかな、こしらえて すぐのもん を ほやほやや (だ) 言うてな。炊きたての 湯気な (だ) 出とると (出ていると) こやまあ (これは) 炊きたての ほこほこで 美味しいねなあ (のだ) 言うて。

**できたひと 【名詞】** 立派な人

**できたれ** 出来ました (志) [会話] 出来ました 言うの (のを) デキタレ、こやまあ こげんして (こんなにして) できられまあ (出来ます) 言うてなあ。

**できたわい** 出来ました

**てきと 【名詞】** 適当 要領よくやるさま いい加減なこと てきとうの末尾母音の省略 [会話] 見当でしときや (しておけば) ええわれ (よろしい) 言うのを、テキトに しときや ええわれ。テキトに やっというてくれ (して下さい) 言うて、なん (に) でもなあ わがとな (自分が) おもた (思った) 通りん (に) しとけ (しておけ) 言うのをな、けんと (見当) で しとけ (しておけ) 言うて。けんと で しときや ええわれ 言うて それを テキトん (に) な (です)。

**できにくい。できぬくい。できのくい** するのが困難だ 仕上げるのが難しい (志) [会話] テキノクイ。できのこい言うな (のは) どえらい (大変) しのくいわれ (しにくいのです) 言うのをな、テキノクイ 言うのな (です)。すんのななあ (するのが) むつかし 言うのを。

**できのこい** するのが困難である するのが難しい [会話] テキノコイ できのくい どいらい (大変) しのくいわれ (しにくいのです) 言うのをな、テキノコイ 言うのな。

**できばい (出来映) 【名詞】** 出来栄えの変化した語 出来上がった様子 出来上がった格好 (鈴市、鈴郡、伊) [会話] 出来た 具合な (が) ええなあ (いい)、かつこ (格好) よお したな デキバイな (が) ええ なあ 言うてな。

**できばれ (出来映) 【名詞】** 出来上がった様子 [会話] 出来映え 出来ばいな (が) ええわれ (よいです) 言うてな、デキバレや (と) 言や (言えば) ええんけど。

**てきびし (手厳) 【形容詞】** 非常に厳しい 情け容赦が

ない てきびしい [会話] テキビシ言うのは あの家や (は) ほん (本当に) きむつかし (気むつかしい) 言うてな。 なんやら (なにか) かんやら (彼にか) 後事な (が) おいて (多くて) うるさいの (のを)、人のした事を わがと (自分が) 気に入った よん (ように) しやせん (しないと) ごちよごちよ 言う人な (が) 有って、おた あの家や (は) なんやら (何か) いやらしてなあ (嫌で) する事を ごちゃごちや言うてなあ。

**できぶつ (出来物) 【名詞】** 有能な人 手腕家 (志、鳥) [会話] 偉い人 デキブツ 言うて。学問でもなんでも 偉い人を あのだ ひた (人は) デキブツでなあ 言うて。

**できぶり (出来振) 【名詞】** 出来上がった様子 格好 できばいに同じ [会話] デキブリ言うて、出来上ったのおな (ので) ええ (よい) のをな デキブリな (が) ええなあ (よい) 言うて。仕事するの な (が) 元気な (が) よかったり その格好な (が) よかったり すると、仕事ぶりな (が) ええなあ 言うしなあ、あがり (仕上がり) な (が) ええと (よい) デキブリな (が) よかったなあ、こや (此は) 言うしなあ。

…てきます …て行きます 連れテキマス (志)

**てきめん (観面) 【名詞】** 効果が即座に表れるさま [会話] テキメンに治った 言うて、薬でも あれ飲むと 腹の痛いの だ (のが) テキメンに 治んねよお (治るのだ) 言うて すぐに 効く 言う事や かなあ (でしようか) テキメン。テキメンに 治んね (治るのだ) 言うて、すぐん (に) 止った 言う事を。あたりもん (食後の腹痛) な (が) した時や (は) 白南天 あのは あ (薬) を きれい (に) つつで (包んで) 金槌で つつい (て) おいて (て) その汁を 搾って ちよいと (少し) 盃の尻程より のおても (無くても) それを 飲むと テキメンに 吐いたり 下したり すんのな (するのが) 治んね (治るのです)。食あたりした時 ん (に) テキメンや (だ) 言うて、医者いら ずや (だ) 言うて。

**できもせんくせん** 出来ないのに [会話] なんも (少しも) デキモセンクセン。くせに言う の (のを) クセン言うな。デキモセンクセン 威張って 言うてなあ。なんも 出来んとおって (出来ないのに) あげん (あんなに) 威張ってまあ 言うの なあ (です)。

**できもん (出来物) 【名詞】** 腫物 出来物 吹き出物 おでき (志 (越賀、船越、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥 (鳥羽、神島、坂手、答志)、桑市、員、鈴

市、松、多、阿、張、度、伊、南、熊) [会話] デキモンな (が) よけ (沢山) 出来おったわい (出来て居ました)。ねぶと (根太・化膿性腫物) を デキモンや (と) 言うて。そして ひぶくれ言うて よお (よく) 出来おったなあ (出来ました)。ひぶくれ な (が) 脛い (に) 出来んの (出来るのです)。ひぶくれ 得手ん (よく) これ (脛) い (に) 出来おった (出来て居た)。水ぶくれ ん (に) なん (なる) のを ひぶくれや (だ) 言うて。疔は おとしね (怖いのです)。ひぶくれや (だ) 言うて 水ぶくれ ん (に) なって来てなあ、そんな (それが) なつとも や (だ) 言うて ばあす や (だ) 言よおったの (言って居たのです)。ばあす な (が) 出来た 言うてなあ、やいこお (柔らかく) 押すと ぶあぶあ (して) (して) いて、びか (と) 光 (って) お (って) (いて) 先な (が) 瘤 (に) なって、子 (な) 出来 (て) (次のが出来て) あや (あれ) ばあす (が) 出来 (て) 言よお (った) ね (言って居たのです)。ばあす 言うても (言っても) 今し (今) の、若いもん (ら) (者達) 判らせん (判りませぬ)。わしら (な) (私達の) 時代に ばあす 夏ん (に) になると 必ず 出来た。夏ん になると あせ (ば) あせ (も) の より (集まり) や (だ) 言うて、毛穴 む (いて) (へ) 皆 黴菌 (な) (が) 入ん (の) (入るのです)。

**できもんでんきちうみうきち 【俚諺】** 出来物の多く出来ている者を卑しめて言う (志 (片田、浜島、鶴方))

**できやせん。できやせんわい。できやせんわな (女性語)。**

**できやせんわれ** 出来ません、出来ない (志 (片田、鈴市) [会話] 出来ない言うのを デキヤセンワレ おら (な) (俺の) こてん (手に) あわせんわれ (合いません)。しぬくい (しにくい) 事を デキヤセンワレ 言うてな、そしてまあ 今日 中ん (に) してくれ言うとおおたまあ 今日 中ん (に) そいな (そんな) こた (事は) デキヤセンワレ 出来よかれなあ (出来ません) 言うて。

**できやん** 出来ない (員、松)

**てぎよお (手器用) 【名詞】** 手先、指先でする事が上手である。[会話] 器用な時は テギヨオ なあ (だ) な 言うの。

**できよかい。できよかな (女性語)。できよかれ** 1) 出来ない 2) 出来ないであろう

**でぎらい (でぎらひ) (出嫌) 【名詞】** 外出するのが嫌いな事 又その人

**できられ** 出来ます [会話] こやれ こげん (して) デキラレ 言うて。

**できる【自カ上ー】** する事が可能だ (志、桑市、四、鈴市、一、多、度、伊、北、南)

**できる【自カ上ー】** 1) 生まれる 2) 果実などが熟す 3) 男女が仲良くなる 4) 成績がよい [会話] 4) デキル よお (よく) デキル人やなあ (だ) 言うのなあ。がっこ (学校) よお デキルとか、あのひた (人は) なんでも よお デキル。畑でも よお デキル とこ (所) と、出来ん (出来ない) とこ (所) とあるし。1) 生れる 言うのも あしこい (あそこへ) 孫な (が) デキタンテナイ (出来たそうだ)、玄孫な (が) デキタンテナイ 言うて 生れる事を。2) 物が デキル 畑の物がデキル 言うのと 人間な (が) 頭な (が) 賢おて (賢くて) できぶつ (よく出来た人) や (だ) 言うて。

**てぎれい (手綺麗)【形容詞】** 手先でする事が整って綺麗なさま 手際が見事な様 (志 (布施田)) [会話] じっばん (立派に) するとなあ、あのひた (人は) テギレイでなあ 言うて。

**てぎれたもん【名詞】** 不浄の物 [会話] 死骸な (が) あがっても、真浜は揚げたら はざん (いけない) 言うて。川尻へ あげる。真浜は 神さんな (が) 上がるとこやよってん (ところだから) テギレタモンは あげやせんの (あげないのです)。

**てぎわ (手際)【名詞】** 物事を行う腕前 処理の仕方 手腕 技量 [会話] テギワな (が) ええなあ (よい) 言うて、仕事すんの (するの)に 綺麗な事するとなあ 上手にする事を テギワな ええ (よい) 言う

**てぎわ (でぎは) (出際)【名詞】** 外に出ようとする時 [会話] 出る時をなあ デギワ 言うてな。どこやかやい (何処かへ) 出てくの (出て行くのを)、デギワ になれ これ しといて (しておいて) いこ (行こう) おもて (思って) 言うてな。出てく (出て行く) 時言うの (のを) デギワ言うね (言うのです)。

**てきん (手金)【名詞】** 前渡しする金銭 手付金 てつけきんの中略 (大言海) [会話] テキン 十円 借つてみても (借りても)、そのテキンな (が) 戻されんで (返せなくて) らいね (来年) その船い (に) 乗って 払うと さがり漕ぎ 言うの。

**できん** 出来ない (度、熊) [会話] 出来ない 言うのを デキン。出来やせんなあ (出来ません)、今日中に言うてな。ま こや (これは) この仕事は むつか しか しのくい (しにくい) とか、出来やせん 言うのをな デキン、しのくい よって (から) 出来や

せんわれ (出来ません) 言うてなあ。

**できんか** 出来ないか

**できんと** 出来ないで

**できんなあ** 出来ません [会話] こやまあ なかなか デキンナア 言うてな。出来る時は 出来る言うしな、はざん (駄目な) 時は デキンナア 言うしなあ、デキンナア 今日中にや (は) 言うてなあ。

**できんのか** 出来ないのか

**できんよって** 出来ないから よって よりて (熊)

[用例] おや忙して (俺は忙しくて) デキンヨッテ、他の人に 言うてみよえ (頼んで見なさい)。

…てく。…でく 上に来る語によって して行く、しつづ行く で行くの略 (志 (立神)、鈴市、松、多、度、伊、北、尾、南) [会話] シテク あれしシテク言うて。なんやかや 持テク (持って行く) 言うて。じっきん (すぐに) あや (彼は) なんでもいたシテクねない (盗んで行きます) 言うて、物を とテクのを (取っていく)。黙って持テクと (持っていくと)、いたシテクとか 盗んデク。盗んデク 言う事を 盗む言わんと (言わずに) いたしてまあ 言うて。あや (彼は) なんでも 見たもん (物) な (が) 欲しねよって (欲しいのだから) いたシテクねよって あんな (彼が) 来たら 油断すんなよお (するな) 言うて したた言うな (言うのは) 自分がする事で シテク 言うのは 向こう (相手) の人がして行く事なあ (です)。

**てぐさ【名詞】** 海藻 天草 紅藻類テングサ科の海藻、三陸沿岸から奄美大島の干潮線下1~20mの海底に生える。高さ10~25cm 葉状体は全体に暗紅色で3~4個、不規則な羽状に分岐し小枝は巾0.2~0.5mmの扁平な線状又は糸状。4分孢子嚢は小枝の頂端につき嚢果は小枝の中央に生じる。通常は寒天の材料になる同属を総稱しオニクサ オオブサ ヒラクサ キヌクサを含めてテングサと呼ぶ。(志) [会話] テグサ テグサかずき (採り)、てんぐさ ところてん炊く テグサ。

**てくさい** 盗む [会話] テクサイ 言うな (言うのは) 盗みする 言う事を、盗みする言わんと (言わずに) テクサイ 言うて ちよいちよい (少しずつ) こそ 泥みたいなのおを (のを)。

**てくさいもん【名詞】** 盗人 [会話] 盗みする人をなあ テクサイ 言うてな。あや (彼は) テクサイねよってん (のだから) 言うて、テクサイモン (者) 言うて盗人の事。人のもん (物) 盗るとなあ あの ひた (人は) てくせな (が) わり (悪い) ねよってん (の)

だから) うっかり しておられやせんど (おれないぞ)、そや (それ) めえ (目) つけとらな (つけていなければ) あや (彼は) てくせな (が) わりねよってん 言うて

**てぐさかづき** 【名詞】天草の採取 (志) [会話] テグサカヅキ。よその人ら かづく 言うと 肩い かづく (担う) おもとるやろなあ (思っているでしょう)、もぐる 言う事やけどな (だが)。テグサカヅキや (た) めえ (若布) かづきや (た) 言うてなあ。

**てぐさのまる** 【名詞】天草を俵に詰めた物 [会話] てぐさ (天草) は 乾かして たあら (俵) に 詰め込んで テグサノマルや (だ) 言うて てぐさは まるや (だ) 言う。

**てぐし (手櫛)** 【名詞】手で髪を整える事

**てぐす (天蚕)** 【名詞】釣糸 ヤママユ科のテグスガから取れる糸 老熟した幼虫から絹糸腺を取り出し、これを 酢酸溶液につけ引き伸ばした物を乾燥させて作る (鳥、張) [会話] てぐさは海藻 テグスは 釣糸。

**てくせ (手癖)** 【名詞】盗みをする悪癖 [会話] あや (彼は) テクセな (が) わりねよって (悪いのだから)、人のもん (物) でも 皆 取り込んでくねよって (来るのだから) 言うて 盗んで来る。

**てぐせ (出癖)** 【名詞】外出する習慣 外出したがる性質

**てぐち (手口)** 【名詞】やり方 特に犯行のやりくち [会話] テグチな (が) 一緒やれ (だ) 言うてな、泥棒な (が) 入いって、こっから (何処から) 入いって、どけんして (どんなにして) した言うと、おらげも (俺の家) こげん (こんな) して、して有る 言うと、テグチな (が) 一緒やなあ (だ) あの人やなあ (だ) 言うてな。する事な (が) 一緒や (だ) 言うのをな テグチな (が) 一緒やなあ (だ) 言うて。する方法 言うのなあ (です) 泥棒な (が) 入いっても、この家も、あの家も した事な (が) よお (よく) 似とるとなあ (似ていると)、テグチな (が) 一緒やよってん (だから) あの人やなあ (だ) 言うて。

**てぐち (出口)** 【名詞】玄関 [会話] 玄関も デグチ、庭も、デグチ 言うし。

…てくど て行くぞ て行くだろう [会話] びしっと 躡せな (しなれば) はざんわれ (いけない)、あや (彼は) ぐれテクド 言うて

…てくない …て行く

**てくながり** 【名詞】手暗 てくらがり てえくらがり 手で光が遮られて手元が暗くなる事 手先が暗い事

[会話] てえくらがり てえ (手) の 影ん (に) なるところ (所) な (が) 有るやんない (有るでしょう)、こっちやから (こちらから) ひい (目) な (が) 照って来るとなあ、こっちや てえくらがりて暗がり (暗い) やんない (でしょう)、そいな (そんなのを) テクナガリ、てえくらがりて 判からんわれ (判りません) 言うてなあ。

**てくらがり** 【名詞】手で光を遮り 手元が暗い事 てくながり参照 (志 (布施田))

…てくれ して下さい 命令形 (伊賀地方)

…てくれや して下さい 依頼

…てくれる してくれる (三重県全域)

**てくわす (てくはず) (出会) 【自サ五】** 出合う ぶつかる (志) [会話] いた (行った) おもたや (思ったら) あの人ん (に) デクワシテ、あの人と 喋っとた よお (ていました) 言うてな。逢う事を デクワス 言うてなあ。

…てけ …て行け 動詞についてその動作を命令するのに用いる (志 (布施田)、北、尾) [会話] シテケ とか、食うテケ、これ もテケ (持って行け) 言うて、終いの 言葉なあ (です) もろテケ (貰っていけ) 言うて。

**てけさん** 【名詞】やつ 他称 てき参照 [会話] 嫌な人 嫌な感じの人を 名指す時に テケサンな (が) おって (居て) 言うし。

**でけた** 出来た (張)

**でけのくい** 出来ぬくい

**でける** して行ける 出来る デキルの 訛 (広辞苑) デキル (出来) の訛 (大言海) [会話] やッテケル、くテケル、言うて 生活が出来てく (て行く) 言うのをこれだけ 有ったらま、くテケル (食べていける) やんかあ (でないか) 言うて。

**でける** 【自カ下一】出来る (志 (浜島)、鳥 (加茂)、員、三、鈴郡、鈴市、安、津、久、一、松、上、阿、張、名、度、伊)

**でこ** 【名詞】人形 でく 木彫りの人形 又、人形 操り人形 木偶でくの訛りか (志 (立神、甲賀、国府、鵜方、浜島、越賀、片田、畔名、志島、布施田、船越、神明、志島、安乗)、鳥 (全域)、桑市、鈴市、鈴郡、安、久、一、度、北、尾、南、熊) [会話] 人形の事を デコ。顔な (が) ぬるっと しとる (している) 人見ると あや (彼は) 塗らん (塗らない) デコみたよ ななあ (のようだ) 言うて。器量な (が) 良過ぎて 瓜実顔の人 見ると すベデコ みたよん (のよう

に) しとると (していると)、塗らん (塗らない) デコみたいなあ てやら (とか)、めっぱ (曲げ物) い(に) 里芋入れたよおななあ (ようだなあ) てやら (とか) 言う。

**でこあそび【名詞】** 人形遊び でこごと(志) [会話] デコゴト 言うて てのこい (手拭) で、でこ (人形) こしゃえて (作って) なんも よおせん (作れない) 時や (は) てのぐい (手拭) 丸けて (丸めて) 首 こしゃえて、それい (に) きもん (着物) 着せて デコアソビして こや (これは) 父さんや (だ)、こや (これは) 母さんや 言うて。デコゴトや (だ) 言うて 遊びおったの (遊んで居たのです)。外へ 出やれん (出れない) 時や (は)。

**でごこし** よく働く 手がよく動く 手まめ (志 (布施田、立神、甲賀)、北) [会話] テゴコシする人を こせこせして (落ち着きがなくて)。

**でこごと【名詞】** 人形遊び でこあそび参照

**でござい【名詞】** 手なぶりする 真似る てこざい、手小才 日本国語大辞典は語義不明とある [会話] 子供ななあ (が) 大人の 仕事しとる (している) と こ (所) を 邪魔しいん (しに) 来てなあ すんのを (するのを) テゴザイ すんな (するな) 言うて。その こお (子) な (が) 大人のする事をなあ、真似しいん (しに) 来ると、テゴザイすんなまあ (するな) 言うてな。そして わがとらな (自分が) した事の無い事するとなあ ちよいと (少し) テゴザイ して見たんよお (見ました) 言うてな

**でこさん【名詞】** 人形 (志 (磯部、甲賀、鶴方)、一、多、上、阿) [会話] 子供の 持つ おもちゃ でこ。デコサン。

**でこずる** 手に余る、もてあます

**でこしばい。でこしばや【名詞】** 人形芝居 (志) [会話] デコシバイ言うのなあ (のです) 来よおって (来て居ました)。今し (今) で言うて 安乗の文楽みたよおなの (のような)、あいなの (あんなのが) すんの (するの) デコシバイ。そやけどなあ (それだが) 昔の しよおったのは (して居たのは) あいな (あんな) じっぱな (立派で) ねえねけど (ないのだが)、そんでも (それでも) あれん (に) よお (よく) 似たよおな事 デコシバイや (だ) 言うて、しよおったの (して居たのです)。わしら な (が) がっこ (学校) い (に) 行く時、デコシバイな (が) あって、がっこ の舞台へ 来よおったやんかい (来ていたで有りませんか)。東の宮さんに 舞台があって そやけど (し

かし) そげん (そんなに) なごおは (長くは) せらったんなあ (しませんでした) ちよいと (少しの) あいやった (間でした)。鳴門の渦、見に行た (行つた) 時 ん (に) 本物の文楽 見て来た。昔やよってん (だから) あいな (あんな) じっぱな デコシバイ ねえ (無い) けど、あれん (に) よお 似た事 しよおった。

**てごてご** 各人 各様に 各人勝手に (志 (布施田)、南)

**てこにあわん。てこにおえん** もてあます てこでも動かない どんな手段を用いても動す事が出来ない いくら説得しても聞き入れない おえん 負えない どうしようもない (南、熊) [会話] テコニアワんなあ (あわない) 言うて、よお (よく) 言うなあ (言います)。おらな (私達の) テコン (に) アワセンワレ (あいません) 言うたり、こてんあおかれ (あわない) 言うたり。難し (難しいです) 事やなあ (です) コテン アワセンワレ こや (これは) 言うて。難し 仕事ん (に) になると おおた (ああ) こやなあ (これは) おらな こてん (に) あおかれ 重たいもんで (ので) 言うたり。テコや こてや (だ) 言うな (言うのは) 一緒やけど (だが) さかさまん (に) 言うだけやわいなあ (です)。わしら こてんあわん 言うなあ、テコニアワン 言わせんなあ (言いません)。そやけど (それだが) 重たいもんな (重いものが) あると 挺子 持て (持って) 来て こてえ (こじよ) 言うて、金挺子 で こてると (こじると) よお いごかすよって (動かすから) どいらい (大きい) 石でも 金挺子 で こてると いごくよってんなあ (動きます)。

**てこね【名詞】** 混ぜ御飯の一種 魚 (刺身) を具にした ちらし寿司 (志 (布施田))

**でこぼこ【名詞】** あばた 凸凹 (志 (片田)、南) [会話] だんち (段違い) ん (に) なつとんの (なっているのを) デコボコや (だ) 言うて。デコボコ 道や (だ) 言うやんかい (言います)。舗装せんと (せずつに) 道な (が) 石な (が) 出たり しとんのおを (しているのを) 九ちゃん道や (だ) 言うて、顔な (が) にきび面 で、デコボコしとるもんで (しているの) 算盤珠みたよんしとて (のようにしている) 皆 ぼこんぼこん しとて 算盤珠の道や (だ) 言よおったやんかい (言って居たでは有りませんか)。顔い (に) 出来とる (出来てる) ぶつぶつ は あや (彼は) にきび面や (だ) 言うて。いもくさや (だ) 言うけど、今しや (今は) いもくさは 無いけど にきび面 は に

きびの痕やけど (だが) いもくさは ほおそ (疱瘡) した痕を。

**でこまあし【名詞】** 人形 (恵比須) を持って門付けする人 (志 (浜島、立神、甲賀、安乗)) [会話] えべっさん (恵比須さま) 持って、デコマアシな (が) よお (よく) 来よおったわい (来て居ました)、門付けも一緒やなあ (です)。えべっさぶろお さえもん殿は、言うてな まあすの (舞いをさせるのに)、えべっさんな (が) 舞い込んで来た、言うてなあ。

**でごろ (手頃)【名詞】** 自分の能力に相応である事 丁度よい事、頃 [会話] こやまあ (これは) おもとおも (重くも) 無し、かあるうも (軽くも) 無し 丁度 テゴロやなあ (だ) 言うたりな、持つのん (に) 持ちよい (やすい) とか、食うもな (物は) テゴロン しとくと (しておくと) 食いよおて (食べやすくて) ええわれ (よろしい) 言うてな くいごろ (食べ頃) 言や (言えば) ええのん (よいのに) テゴロや (です)。

**でこんあわん** もてあます 手に負えない こてにあわん てこにあわん参照 (志 (布施田))

**でこんおえん** 手に負えない (名)

**でざいく (手細工)【名詞】** 1) 手先です仕事 細工 手芸 2) 墮胎 (自己流です) [会話] 1) なんやかや (いろいろ) わがと (自分が) した事 無い事でもな ちよいと こしやえて (作って) 見よ (見よう) おもて (思っ) するやんない (でしょう)、ちよいと (少し) テザイク してみたいなあ 言うたり。2) こお (子) おろすのんあ (墮胎するのに) テザイク した 言よおったの (言うて居たのです) テザイク して まあ えらいめん (大変な目に) おおた (あった) 言うてな。

**でざお (てぎを) (手竿)【名詞】** 舟具の一つ 舟を物からよけたり、隣り合った舟をさけたり、又、舟の方向を変えたりする時に、相手に当てて距離を開けたり、波を避けたりするのに用いる長い竿 [会話] テザオ はる 言うの。テザオハリ 言うてな 舟つける時や (とか) 出てく (出ていく) 時んなあ (に) さわ で張って 沖い (へ) 出したり、たか (陸) い (に) 入れる時や (は) 舟 回すのに テザオもち してなあ。張り方 (突っ張り役) しとても (して居ても) 力 いっとらんと (入って居ないと) 横倒しん (に) ひっくり返されて (返されて)、ひきやげて (引き上げて) くれや (くれれば) ええのん (いいのに) 思て (思っ) テザオ 張つとても (張っていても)。

**でさき (出先)【名詞】** 外出している先方の場所 [会

話] 何処 其処 い (へ) 行く言うの (のを)、デサキ も 言う といて (言っ) ておいて 行けよお (行きなさい) 言うてなあ。

**でさぐり (手探)【名詞】** 手先の感触で物を探す事 海女が水中で眼鏡なしでしていた作業 (志 (布施田)、鳥)

**でさげぶくろ【名詞】** ハンドバック (熊)

**でさばき (手捌)【名詞】** 手で物を扱いこなす事 又、その手つき、扱い方 [会話] テサバキな (が) よおて (よくて) 言うやんかい (言います)、なんやかや (いろいろ) 仕事すんのな (するのを) 上手な人も 言うし、人を、扱かうのん (に) 上手なと (だと)、あの人 テサバキな よおて 言うて。

**でざら【名詞】** 手皿 自分の分をとって入れておく小さな皿 [会話] 味噌を テザライ (へ)、てしよお皿 (小皿) い (に) こびつかして (こびりつかして) 入れとる (ている) 人も 有りおった (有りました)。

**でざらい。でざらえ【名詞】** 竹の熊手に柄のついていないもの [会話] 高砂の爺さん、婆さんな (が) 持つとる (持っている) あや (あれは) こまざらえ、それの ええ (柄) な (が) 無いのが てえ (手) ばっか (ばかり) のな (のが) テザラエ。

**でさらす【自サ五】** さらすは相手ののしる言葉 出ている 出て行く [会話] どこやかやい (何処・此処へ) 年中 デサラシテ 家ん (に) おらせんねない (居ないのだ) 言うてな、出てばっか (ばかり) おつて (居て) 言うて 口汚い人の 言う事やなあ (です)。

**でざわ【名詞】** 手竿 舟を陸から出したり 陸につけたり する時に使用する竿 てざお参照 [会話] 舟の テザワ 言うの (のです)。

**でざわはり【名詞】** 舟を 竿で操つること 又 その人 [会話] 舟 つける (接岸する) 時ん (に) 竿 張って テザワハリ テザワ は 竹はなあ 浮いて来て はざんね (いけないのです)、きい (木) やなけな (でなければ) 思うとこ (所) い (へ) 行かせんの (行かないのです)。舟、まあす (廻す) よん (ように) になると おとしねんなあ (怖いのです)、風の向き ん (に) よって そのさわ (竿) を うけんのな (受けるのが) 違うやんない (でしょう)。頭 (知恵) のない もん (者) 出来やせん (出来ません)、テザワハリ はよ (早く) 来てくれ言うて 年寄りの人らをなあ 頼みおった (頼んで居ました)。はやじゃらく (機転) のきく、才 (才智) のある にげや (人

間で なけな (なければ) うとんぼ (ぼんやり) みた  
よな (のような) にげや (人には) 出来やせん 舟  
横倒しん (転覆) したんね (してしまうのです)。

**でざわもち【名詞】** てざわはりに同じ、舟を岸から出したり、つけたりする時に竿を持って舟を回す人。[会話] テザワモチや (は) 年寄りの かいしよ (甲斐性) の 有る もん (者) や (で) なけな (なければ)、若い もん (者) は よおせん の (出来ないのです)。風 受けたり、波 受けたり せんならんよってな あ (しなければいけないから)、舟 おもかじい まあす時や (は) こつちやい (こちらへ) てざわ 張らな (なければ)、とりかじまあしのおや (時は) こつちやい まあさな (廻なければ) はざん (いけない) その考へ せな (しなければ) はざんよって (いけないから) テザワモチは 年寄りのなあ 考えの ええ (よい) 人な (が) してくれよおったわい (してくれて居ました)。

**てしお (てしほ)【手塩】【名詞】** 1) 自分で世話をすること 面倒を見る事 2) 指で魚に塩を塗る事 [会話] 1) わがとなあ (自分が) てえ (手) 掛けて 大事ん (に) して、育てた言うのな (のです)、テシオン (に) 掛けて 育ててなあ言うて。2) 魚い (へ) 塩 すんのも (するの) テシオ しとけ (しておけ) 言うやんかい (言います)。腹い塗ったり、せえ (背) え塗ったり すん の (するのを)、テシオにすると 美味しい われ (です) 言うて。ぷるぷると 物い 入れ といて (入れておいて) 振ったんのは (てやるのは) 塩な (が) かたいき (片寄り) な (が) するけど (が)、テシオン (に) すると いび (指) の 腹ですると、塩加減な (が) よおて (よくて) 美味しい ね (のです)。

**でしお (でしほ)【出潮】【名詞】** 陸から沖へ流れる潮流 干き潮 (志、鳥、度、北、尾、南、熊) [会話] 沖 むいて (向かって) 出てく な (のは) デシオ。沖から たか (陸) い (へ) 入れて くんのは (来るのは) よりしお 言うてなあ。ひちや (七夜) すん (る) のでも なんでも (なにでも) 干き潮は、はざんね (いけないのです)。満潮ん (に) なる時や (で) なけな (なければ) 祝い事する時は、そやよって (だから) 米寿の祝いでも 潮刻を 言うやんかい (言うて有りませんか)。しおどきな (が) 今日 早い よってん (から) 言うてな 朝の潮刻と よさり (夜) の潮刻と ふたあくら (二度) 有る やんない (でしょう) 朝の潮刻の早い時ん (に) になると、潮刻な (が) ええ

(よい) よってん (から) 言うてな。満潮ん (に) になると ひき潮ん (に) なんねよって (なるのだから) はざん (いけない) の (のです) 潮な (が) 満ちて来る時ん (に) 言うやんかい (言うのです)。

**でしこ (弟子子)【名詞】** 弟子 (志 (布施田)) [会話] 何でも 習いん (に) 行くもん (者) を 弟子や (だ) 言うて。裁縫 習いん (に) 行くと、針子やとか (だとか) デシコ やとか。弟子 おいとんね (置いているのだ) 言うて。大工の弟子やとか しゃかん (左官) の弟子やとか、習いん (に) 行く事を デシコ や 言うて。

**てしごと (手仕事)【名詞】** 手先でする仕事 機械にたよらないで手でする仕事 (志 (布施田)) [会話] 手芸したりそれを テシゴト。テシゴト、しとるよってん (しているから) まあ 忙がして言うてな 裁縫 しとて も (していても) テシゴト 言うしなあ (言います)。

**てしずか【名詞】** 静かに おとなしく [会話] 仕事 じっくり テシズカ にする。

**でしな【名詞】** 出ようとする時 [会話] 家から 出る時や (は) デシナ 言うて、デシナ とか いきしな 言うて。

**てじなつかい (てじなつかひ)【手品遣】【名詞】** 手品師 手品の芸を演ずる人 [会話] てじな あと (後ろ) 見んなよお (見るな) 言うの (のです)、手品してなあ 後ろい (へ) 行くと 種な (が) 判る やんない (でしょう)、そやよって (それだから) 後ろい (へ) まあって (廻って) くんな (来るな) 言うて。〇〇 ななあ (が) 手品する よん (ように) になると 種明し 見やれたるもんで (見られてしまうので)。テジナツカイやなあ (だ) 言うななあ (言うのです) なんやかや (いろいろ) 手ばよお (手早く) するとあの人 てづま 使うねなあ (のだ) 言うやんかい (言います)。

**てじまい (てじまひ)【手仕舞】【名詞】** 破産 倒産 [会話] 店じまいした 言うけどなあ (言います) まあ 店じまい やよお (だ) 言うて 店を しもて (終つて) まあ しまうんかい (終るのですか) まあ 皆売り切れて 店じまい やよお (だ) 言うたり、失敗したても (してしまつても) テジマイ したよお (しました) 言うてなあ。

…てしもた してしまつた (志、鳥、安、松、伊賀地方、伊、南) [用例] 喰うテシモタ

…てしもたら してしまつたら

…てしもて してしまつて (志) [用例] 喰うテシモテ

てしゃ(手者)【名詞】手利口 何事も器用にやっつける人 手者 妓芸や武芸の熟達した達人(志(布施田)) [会話] なんでも(何でも) よお(よく) すんね(するのです) あや(彼は) テシャや(だ) 言うて、なんでも よお する人を。なんでも出来る人を てえ(手) で すると 早かったりする人。テシャやよってん(だから) あや(彼は) 言うて。その反対に鈍で 言うて どんずらばこ(不器用) 言うね。あやまあ(彼は) どんずらばこで なんしても(何をしても) 鈍で 言うて。どんな 私に 緞子の着物 着せて 眺めや(れば) なお どんや(だ) 言うて昔の人ら(達)。

でしゃぱり【名詞】差し出口をする人、何処へでも首を突っ込む人 [会話] デシャバリで 言うて、話ししとでも(していても) わがとな(自分が) 先取りして 喋るにげを(人間・人を)、あや(彼は) デシャバリや 言うて。なんでも がいに(あまり) 知らんとおって(知らないのに) 知ったかぶり してなあ言うの デシャバリや(だ) 言うて。

でしゃばる【自ラ五】差し出る 自分に関係ない事に口出しや手出しをする。又、他をおしのけて差し出る。(志(片田)、鳥)

てじゅん(手順)【名詞】順序 仕事をする順序 手をつける順序 [会話] だんどり(計画) よお(よく) するとなあ、テジュンな(が) よおて(よくて) 言うてなあ。だんどり な(な) ええ(よい) となあ 仕事な(が) 早い。

てしよ。てしよお【名詞】小皿 手皿 てしよざらの略訛 [会話] 小皿の事なあ(です) テシヨオ 言うて、てびき言うて 皿を 大きなおを(のを) てびき。おっきいね(大きいのです) 魚する(載せる) こいなのおを(こんなのを) てびき、ちっさい(小さい) こおこ(漬物) 載せんの(載せるのを) 小皿 テシヨオ 言うし(言います)。

てしよおざら【名詞】小皿 てしよ 手塩 それぞれの食膳に供えた少量の塩 食膳の不浄を払うため小皿に盛って添えたと言う。手塩皿の略 手塩を盛った小さな皿 香の物などを盛る極小さな皿 おてしよ してしよ参照(志(鶴方、神明、志島、国府)、鳥、一、上、阿、張、名、南、熊) てしよお(志(浜島、布施田、立神、国府、安乗)、鳥(鳥羽)、安、一、松、上、阿、度、伊、北、南、尾) てしよざら(志(鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、熊)

てしよく(手職)【名詞】手先で仕事をする職人 [会

話] てえ(手) に 職な(が) 有る言うのを テシヨク 言うんかいなあ(言うのでしょうか)。あのひた(人は) てえに 職な 有って 言うて、大工の職持つとたり(ていたり)、しゃかんや(左官屋) てやら(とか) 言うて。あのひた てえん(に) 職な(が) 有るよってん(から) くいはずれ(食いはぐれ) な(が) 無いわれ言うて。てえ(手) に、職な(が) 無いもな(者は) くいはずれ な(が) 有るけど(が)、言うて 昔の人ら 職人を えらびよおつたね(選んで居たのです)。

てしよく(手燭)【名詞】火をつけた蠟燭を持ち運びする道具(熊)

でじり(出尻)【名詞】尻が出ている事 大きな尻

てす【名詞】魚名 ベラ科の海魚。体長40cm 体形は楕円形 体色は紅褐色で胸鰭基部から背鰭中央部にかけて、暗黄緑色の一本の帯が有る 1) いら(鳥) 2) ばらひらべら ベラ科 テンス属の海魚 体は著しく側扁す。背鰭 第1 第2棘は柔らかく曲げやすく第3棘と離れる 大きな梅型の赤紫色斑が側線4~6鱗とその下の鱗に有る。(志(志島、甲賀、安乗)、鳥) [会話] 魚のテス テスの頭 こんぶ(瘤) な(が) 出来とんの(出来ている)。テスは こやまあ(これは) 鮪のこお(具・種) ん(に) ええんなあ(よいのだなあ) 言うて、さばいて(ほぐして) おぼろん(に) して 鮪巻く中へ 入れてなあ(入れるので)。みい(肉) が さばけよおて(ほぐしやすく) よけ(沢山) あるもんで(ので) おぼろん(に) すんのん(するの)に) どいらい(大変) 楽なんてや(なのです) テスは。いがみ やどけ(などは) すると こつこつしとて(して) さばけんで(ほぐれなくて)。

でずいらず(不出不入)【名詞】それ程よくも悪くもない事 程よい事 差引相殺して支払いなどせず済む事 [会話] よお(よく) もなく、わりも(悪くも) 無し 言うのを、デズイラズで これん(に) しとこか(して) おこうか 言うて、よお(よく) 言うやんかい(言います)。これ しよおか あれ しよおか 言うて、違うと まあ(もう) これ デズイラズで これ しといたら(しておいたら) どおどい(どうですか) 言うて、よお 言うやんかい(言います)。

てすう(手数)【名詞】手間 暇のかかる事 面倒なこと てかず [会話] ひにち(日数) な(が) よけ(沢山) かかると、テスウな(が) 掛って言うてな

てすき(手隙)【名詞】仕事が一段落して暇になること

手があいていること [会話] 仕事な (が) 暇な事を  
テスキやなあ (だ)。テスキな (が) 有ったら これ  
してくれるかい (くれますか) 言うて 頼むやんかい  
(頼みます)。仕事のあい (間) に してくれえ (し  
て下さい) 言うてな。忙し人ん (に) 仕事 頼む時や  
なあ (は) 忙して 出来やせんやろけど (出来ないだ  
ろうが)、テスキん (に) なったら これ しといて  
(しておいて) くれるかい 言うて。

**てすじ (手筋) 【名詞】** 事をする時の巧拙の素質 天分  
[会話] じい (字) な (が) 上手で あのひた (人  
は) テスジな (が) ええ (よい) 言うてなあ、テスジ  
な (が) わりいて (悪くて) 悪筆で はざんね (い  
けないのです)。

**てすじなええ** 手でする事が上手だ てすじ参照

**てすじなわり** 手でする事が下手だ [会話] テスジナ  
(が) ワリテ言うて、なん (何) しても 下手なもん  
(者) はなあ テスジナワリ 言うなあ (言います)。  
仕事すんのん (するのに) 下手な もんなあ (者は)  
テスジナワリいて 下手で言うてなあ

**でぞこ。でぞこしお 【名詞】** 東から西の沖へ流れる潮流  
さかしお参照 (志)

**でぞろい (てぞろひ) (手揃) 【名詞】** 仕事がよく出来る  
人が集まっていること (志 (布施田)) [会話] おおた  
テゾロイやなあ (だ)、今日は 言うて。よけ (沢山)  
えらい (上手な) 人ばっか (ばかり) 寄っとるとな  
(ていると)、今日は、テゾロイやお (だ) 言うて  
よお (よく) 言うわい (言います)。

…てた していった してしまった 完了形 (志 (布施  
田)、四、阿、名、尾)

**でだ** しくくて

**でだし (手出) 【名詞】** 1) 抵抗 (上、阿) 2) 撲りか  
かる 3) 自分から先に仕掛ける事 4) 他人の事に  
不必要にかかわる事

**でだし (出出) 【名詞】** 出始め 物事の始まり すべり  
だし (志 (布施田)) [会話] 新米な (が) 出て来た  
の (のを)、はな (始め) や (だ) 言うて。デダシ  
出ばなや 言うて。

**てだすかり (手助) 【名詞】** てだすけになる事 助成を  
得て、その仕事で楽になること 使う労力の省ける事  
[会話] テダスカリやなあ (だ) 言う、てつとくれ  
(手伝って下さい) 言うの (のを) てだすけ してく  
れえ (して下さい) 言うしなあ (言います)。して貰  
らうと おおた、テダスカリやなあ (だ) 言うて、て  
つとて (手伝って) もろて (貰らって) 助かったなあ

言うてなあ。

**てだすけ (手助) 【名詞】** 仕事などを手伝う事 [会話]  
てつとて (手伝って) 貰らうとな、テダスケ しても  
ろて (貰らって) 言うて。お前げや (家は) 忙がしそ  
おなよって (だから) テダスケ したるわい (してあ  
げます) 言うて、てつたう (手伝う)、てつとたるわ  
い (手伝ってあげます) 言うのは テダスケ したる  
わい 言うのな (です)。

**てたたき。てたたきみず (手叩水) 【名詞】** 飯を炊く時  
の水加減 米の量より少し水が多く掌をあてると、手  
掌を越えるか、越えないかの水の量 (志 (布施田))  
[会話] テタタキ 言うな (言うのは) 水を すれす  
れん (に) して てえ (手) 置くと 水な (が) 掌位  
ん (に) 着く位を テタタキ てえな (が) つかつて  
くのは (沈んで行くのは) 言わせんね (言わないので  
す)。叩くと ちよいと (少し) てえな (が) 濡れる  
位のおを (のを) テタタキ。

**でたち (出立) 【名詞】** 身仕度、装い いでたちの略  
[会話] デダチな (が) ええ (よい) 言う事やろなあ  
(でしょう)。押しだてよおて (よくて) 言うて、体  
の格好 よおして (よくして) 出る時 かっこお (格  
好) よお してくの (していのを)、デダチな (が)  
よおて、押しだてよおて 言うて、デダチ な (が) え  
え事、着晴れな (が) して言う。

**でだち (出立) 【名詞】** 出発 (北)

**てだっしゃ (手達者) 【名詞】** 手でする事の上手な人  
仕事を上手にする人 てしゃ てだれ [会話] てば  
しこい (手早い) 言う事やかな (でしょうか)、てえ  
(手) な (が) 早い 言う事 言うねやろなあ (言う  
のでしょう)。テエナ タツシヤな事 やよってんな  
あ (だから)。

**てだて (手立) 【名詞】** 物事を行う順序 やり方 方法  
手順 (志 (布施田))

**でたて (出立) 【名詞】** 1) 出た直後 (外出 風呂)  
2) 野菜 果物等の初めの物 [会話] 1) 風呂出たば  
か、デタテや (だ) 言うて。2) 筍も こや (これは)  
デタテやなあ (だ) やいこおて (柔らかくて) うまい  
なあ 言う。なんやかや 今し (今) こや (これは)  
デタテやない (です) 言うて、なんでも (何でも) に  
よこんと して来ると こやまあ (これは) 今し  
(今) デタバカやなあ 言うて。めぎんで来た (芽を  
出して来た)、それと 一緒や (です)。めぎんで来た  
ない (来ました) 言うのと、デタテ 一緒やわい (で  
す)。

でたばか。でたばっか 出たばかり でてたて参照  
(志)

…てたら 1) 行ったら 2) と言えば (志)

でだらひ (てだらひ) (手盥) 【名詞】 木製の洗面具  
てあらいおけに同じ (志、南) 【会話】 きい (木)  
の のおで (の) さんぼあし (三本足) な (が) 付  
いとんのをなあ (ているのを) テダライや (だ) 言う  
て。てえ (手) 洗う だけやなしん (でなくて) 顔も  
あろて (洗って)。

でだれ (手足) 【名詞】 腕前のすぐれていること 又、  
その人 腕利き てだり (手足) の変化した語

でたれ 1) 出ました 2) 出てやれ 出てやりなさい  
【会話】 <sub>1)</sub> そげん (そんなに) いくら いっしょけん  
め (一生懸命) ん (に) したてて (しても) なんも  
(少しも) 出よかれ (出ません) そんでも (それで  
も) 今日は デタレ言うてな。

…てたんや していたのだ

でたんやけど 出たのだが、出たが

でちか (手近) 【名詞】 1) 近い所、手の届く程近い所  
2) 近くに有りふれている事

でちがい (てちがひ) (手違) 【名詞】 遣り損い 失敗  
(志 (布施田))

でちがい (でちがひ) 【名詞】 行き違い (南)

でちぶ。てちぼ 【名詞】 手なぶり (志 (布施田)) 【会  
話】 子ららな (子供達が) なんやかや よけ (沢  
山) なぶる。これ なぶり、あれ なぶり、テチボ  
すんなまあ (するな) 言うて 手遊びも テチボも  
よお (よく) 似た事やわい (です) なぶんねよつて  
(なぶるのだから)。あれ なぶり これ なぶり  
なんやかや (色々) よけ (沢山) 開げると (散らかす  
と) テチブで まあ言うて。子供ら わるうのん (叱  
るのに) テチブ すんなまあ (するな) よけ (あま  
り) 言うて、テチボやなしん (でなくて) テチブ。

てつ (鉄) 【名詞】 丈夫な事 健康な事

てつ 【名詞】 額の出た人 でこ 突き出している事 又  
は、その物 額、又は額の突き出ている事 (志 (片田  
布施田 船越 甲賀 国府 浜島 御座 鶴方 神明  
立神 志島 安乗)、鳥) 【会話】 こな (ここが・  
額) 出とんのなあ (出ているのを)、デツな (が) 出  
て あやれ (あれ) 出来な (が) わりなあ (悪い)  
言うて。今し (今) の にげや (人間は) おでこや  
(だ) 言うけど、昔や (は) デツな (が) 出て 言う  
て。〇〇さんな (が) デツで 奥目 ん (に) なって  
この奥に 目 有り言うて 立て札せな (しなけれ

ば) 判らん程 デツやなあ (です)、あやなあ (彼女  
は) てんてんの杓子みたいな顔 しとる (している)。

てついち 【名詞】 てつと同じ 額のでて居る事 【会話】  
デツイチ。でつ (額) の よお (よく) 出とん (出て  
いる) のを 言うんやろ (言うのでしょうか)。

てついで (手序) 【名詞】 ある仕事をするついで 【会  
話】 テツイデに言うて、てえな (が) だいこづけ  
(大根漬け) 出した 汚れたつんでん (ついでに)、  
テツンでん なあづけ (菜漬け) も 出せとか 言う  
て。手な (が) 汚れたつんでん まあ そのもん  
(物) を する言うの テツイでん (に) 言うて、仕  
事しとて (していて)、その手で 他の仕事 すんの  
(するの) まあ テツイでん それも してくれとか、  
テツンでん 言うね (言います)。本当は テツイデ  
やけど (だが) テツンデ 言うのなあ (言うのです)。

てつか (てつくわ) (鉄火) 【名詞】 1) 気に入らず激しく泣き叫ぶ様 駄々 2) 乱暴な事 言動が荒々しい  
事 強情で人の言う事を聞かず反抗する事 【会話】  
<sub>1)</sub> テッカ きつて 言うて。やからきる (無理を言  
う) 事を、テッカきりで まあ 言うて。子供らでも  
よお (よく) やからきる こおが 有ると、あのかあ  
(子は) ちっさい (小さい) 時や (は) テッカきりや  
ったね (だったのだ) 言うて。<sub>2)</sub> 酒 のおで (呑  
で) テッカ きん (きる) のも あるしなあ。ごんじ  
きりと、てつかきりと 一緒やなあ (です)。

てつかい 鉄ですか 丈夫ですか

てつかい 【形容詞】 でかいを強めた語 急呼 大きい  
甚だしい でかい参照 (志 (浜島)、松、多、上) 【会  
話】 おっきい (大きい) のおを (のを) デッカイな  
あ、デッカイ奴やなあ (だ) 言うて。どいらいなあ  
(大きい)、どてつかいなあ (大きい) 言うたりなあ。  
おた どてつかい もん (物) な (が) くて (釣れ  
て) 来たれ (来た) 言うし。

てつかきり 【名詞】 我儘を言う子供 甘えん坊 難題  
を言う人 てつか参照 (三重県)

てつかきる 無理を言う 我儘を言う だだこねる 参  
照 (志 (布施田)) 【会話】 テッカキル 言うのは、  
無理言うとか、無茶な事 言う事や (だ)。

てつかず (手不付) 【名詞】 まだ使わないこと 手を付  
けないで、もとのままであること 新品 (志 (布施  
田)) 【会話】 テツカズで おんない (有る)、ごつ  
お (御馳走) よけ (沢山) 出したけど (が)、あのひ  
た (人は) 食わんと (食べずに)、テツカズで いた  
ない (行ってしまった) 言うんやかいなあ (言うて有

りませんか。てえ (手)、付けんと (ずに) 行くと、食わんと (食べずに) 行くと、おた テツカズ や (だ) こえん (こんなに) 出したのん (のに) 言うて。

**てっから**【形容詞】大きく突き出て居る (志)

**てっからかす** 光らす 日に当てる 日に当て乾かす  
[会話] あま海苔 採りん (に) いても (行っても) 朝の湿り気のある おや (時は) ええんけど (よいが)、こえん (こんなに) テッカラカシタルト (しまうと) かんからこ (乾燥した状態) ん (に) なつてて (いつて) 水かけて しめしといてな (ておいては) 採りいする。

**てっかり**【副詞】光り輝くさま

**てつき (手付)**【名詞】手を使って物事を行う時の手の動かし方 [会話] テツキな (が) ええなあ (よい)、なん (何) さしても (させても) 言うて。すがり (仕様) な (が) ええ (よい) 上手な人をなあ テツキな (が) ええなあ、テツキな (が) ちがわれ (違っている) 言うて

**てづき (出月)**【名詞】臨月 妊娠十カ月目 [会話] 子供産む時は 出船祝い 言うて 安産するよおん (ように) 言うて、よばれてきおった (招待されて行きました) こお (子) の デツキン (に) になると。

**てつきり (確適)**【副詞】まるつきり 間違いなく 確かに 適の音にハッキリの音調を取った語 (大言海) (志 (布施田、鶴方)、南、熊) [会話] テツキり あれやなあ (だと) 思たけど (思ったが) 言うんかい (言います)。テツキり あれん (に) 違いない 思た けどなあ。あれん (彼に) テツキり やられたれ (してやられた) 騙された 言うのテツキり。

**てつきり**【名詞】手甲 [会話] てっこお 言うの て が きの 事を 昔や (は) てっこおや (と) 言よおった なあ (言っていました)。テツキり は これいまでや けど (ここ (手首) までだが) 甲へ 覆ぶせとんのお な (覆ぶせているのが) てっこお 言うて。昔や (は) てがけ 言よおったの (言って居たのです)。てがきも こさえて (作って) 言うて てがきとも言うし てっこおとも 言よおった (言っていました)。てがきや (だ) 言うて 甲な (が) ついとんのお を (付いているのを) テツキり 言うな (言います) 手首までのなあ (のを) テツキり。

**てつきり**【名詞】たかのはだい たかのは参照 (志、鳥、度、尾、南)

**てづくらい。てづくろい** 1) 髪などを指先で整える事 用具を用いないで身だしなみを整える事 2) 少しの

修繕 [会話] 2) テツクロイ 言うて なにやかや (いろいろ) なおす のおをなあ (のを) テツクライ 言うて。テツクライ で、そそくつとけ (修理しておけ) 言うて、なんやかや 壊れたもん (物) なおす時んなあ (に) そげん (そんなに) 言う、てえ (手) で 直し といた (ておいた) 言うの (のを) テツクライ しと いたよお (しておいた) 言うて、1) 髪を てえ (手) で 梳く のも テツクライ。

**てっこお (てっこう てっかふ)**【名詞】手甲 田畑の作業等のときに腕から手の甲まで覆う物。てつきり参照

**てっこお**【名詞】恥丘 [会話] おなご (女) のもん (物) も テッコや (だ) 言うやんかい (言います)。テッコオや (だ) 言うなあ (言います) テッコオな (が) 高い とか言うて。上ん (に) 出とる (出ている) 骨な (が) 当たる 富士山みたよおん (みたい) (に) しとるとこ (いている所) テッコオ。

**てっこお**【形容詞】高く 天高くに関係するか てんこもり参照 [会話] テッコオ もつて 押しやもり (押し盛り) 食え 言えて、飯でも もやげると (盛り上げること) テッコオ もつたなあ (よそつた) 言うて

**てっこおもつてはげしいやれ**【俚諺】沢山よそつて沢山たべよ [会話] 飯を もやげといてなあ (高くよそつて) せんぎり (十分) 食え 言うのなあ (です)。テッコオ モツテ ハゲシヤレ 言うてな、激しやれ 言うな (のは) せえ一杯 (出来る限り) 食え (食べよ) げえ出す程 (吐く程) 食え 言うのなあ

**てっこおもやげる** 山盛りにする。高く積み上げる。 [会話] 飯を テッコオ モヤゲル 言うて、山盛り ん (に) すんねよつて (するのだから)。金持ち 家は てっこお もんねけど (よそうが)、お櫃な (が) がら しとると (していると) てっこお もられやせ ん (よそえません)。

**てっこおもる** 山盛りにする 高く積み上げる [会話] テッコオモル 言うて、もやげて (積み上げて) そげ ん (そんなに) てっこお 盛つたら、鼻い (へ) つか えられ (つかえる) 言うて。てんこもり (山盛り) の 事なあ (です)。

**てっこもり**【名詞】てんこもり参照 山盛り 盛り上げる事 食器に食物を高く盛り上げる事 (桑市) [会話] テッコモリ 言うて もやげんのをなあ (盛り上げるを) テッコモリ して言うて 飯も テッコモリ して 食うたよお (食べた) 言うて

**でっころぼおず【名詞】** 1) 案山子 2) 人形 [会話]

1) 人間の形 こさえて (作って) すんの (するのを) デッコロボオズ や (だ) 言うて、昔は かがし 言をかい (言いません)、かがし 言わんと (言わずに) おどし言うて、デッコロボオズ。おどし たてな (立てなければ) はざんわれ (駄目) 言うて デッコロボオズ こさえて たてえ (立てなさい) 言うこと。

**てつたい (てつたひ)【名詞】** 手伝い 冠婚葬祭等の無料奉仕 てつたう 人の仕事を助ける事 (志 (波切、浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥、員、四、鈴市、鈴郡、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南、熊)

**てつたいど。てつたいど。てつたいにん。てつたいにん**

(**てつたひにん)【名詞】** 手伝いをする人 手伝い人 (志 (波切、浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、名、度、北、南、熊) [会話] 手伝い。テツタイド や (だ) 言うて、葬式のテツタイドも有るし、結婚式のテツタイドも有るし、家 建て、建てまい (建前) の テツタイドや (だ) 言うのも 有るし。手伝いいん (に) 行く事、テツタイド や (だ) 言うて。ひよ (日当) は 貰わんと (貰わずに) ただ働きを テツタイド言うて。ひよ 貰うひた (人は) ひよど (日雇い人) 言うて、あの家い (に) ひよどに いて (行って)、ひよど たのだ (頼んだ) 言うし。テツタイン (に) 行く にぎゃ (人間・人は) なんも (何も) 貰わせんよつて (貰わないから) テツタイド や (だ) 言うて。

**てつたう (てつたふ)【他ワ五】** 手伝う 手助けする (志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、員、鈴市、松、名、上、阿、伊、尾、南、熊) [会話] すける言うのは 助ける テツタウ。

**てづち (手槌)【名詞】** 片手で用いる小さな槌 [会話] テヅチ。藁打つのを テヅチ 言うんやなあ (言うのです)。

**てつち【名詞】** 丁稚 (志 (志島 浜島 鶴方)、鳥 (答志))

**てづちのてんぼ【名詞】** 何をさせても出来ない人 かい しよなし 参照 (志 (布施田))

**てつ【名詞】** 額 てつ参照 (志 (浜島)、鳥 (相答志)、一、多、度、伊) [会話] 頭のデツツ ひたえ (額) の事をな デツツや (だ) 言うね (言うのです) デツツな (が) 出とんな (出ている) あの ひた (人は) 言うて。

**てつとたる** 手伝ってやる (志 (浜島)、鳥 (答志、相

差)、一、多、度、尾) [会話] 今日は まあ 仕事 な (が) おまえぎゃ (お前の家は) よけ (沢山) 有るよつて (から) わしも (私も) テツタルワイ、てつたうわい (手伝います) 言うのなあ (です)。仕事 したるわい (してあげます) 言うの (のを) テツタル。

**てつとつたる** 手伝ってやる (尾)

**てつとて** 1) 手伝って下さい 2) 手伝って (志、鳥 (加茂)、三、鈴市、上、張、名、伊) [会話] 1) テツテくれえ (下さい) 言うのなあ (です)。仕事 わしげん (私の家の) の (のを) テツテくれえ テツテ 言うね (言うのです)。てつとてくれ (手伝って下さい) 言うのなあ、テツテくれえ 今日は かあらおき (瓦ふき) やよつてん (だから) とか、今日は なあ付け (名付け・命名) やよつてん てつたいん (に) 来てくれ 言うのなあ (言うのです)。

**てつとて** 1) 手伝って (伊) 2) 手伝って下さい [会話] 1) みんな (皆が) 寄つてなあ (集まって) テツドテ 普請すんの (するのを) よりあいぶしん言うの。

**てつとてくれ。てつとてくれえ。てつとてくれや。** 手伝って下さい

**てつとてもおて** 手伝ってもらって [会話] 芋 剥く のん (のに) 友達ん (に) テツテモオテ。

**てつとてもら** 手伝ってもらう [会話] 仕事 テツテモラウ 皆に 心配かけてなあ (かけました)。

**てつとりばやい (手取早)【形容詞】** 手間が掛からない 手短で簡単である [会話] 今しゃ (今は) ごつとお (御馳走) ん (に) なると、鰻飯すんのな (するの) が 得手こいや (得意だ)。さあ言うて テツトリバヤイ 鰻飯と てこねと。

**てつとる** 1) 光って居る 2) 晴れ晴れとしている 映えている 3) 熟し過ぎて居る [会話] 3) あからむ (熟すると) となあ、あつこお (赤く) なつとられ (なっています) 言うて まあ あからんどのよお (熟しています) 言うとるか (ているか) 思うと あからみ (熟し) 過ぎとると (ていると) テツトル よお (て行った) 言うてな。

**てつば (出歯)【名詞】** 歯が異常に前に出ていること、又その歯 デバの促音化 (広辞苑) [会話] はあ (歯) な (が) デツパ デツパに 西瓜 食わせ 言う。

**てつぱり【形容詞】** きつぱり 見映えのよい状態 すべて充分なさま (志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、

甲賀、国府、安乗)、鳥) [会話] 立派ん (に) なる事を テツパリ しとんなあ (している) 言うて。派手な ふう (格好) しとると (していると) テツパリした ふう して 言うこた (事は) 立派ん (に) しとると 言う事を。なんでも ええとさいご (よいと・立派だと) テツパリ しとんなあ 言うて、ごつお (御馳走) して 言うやんかい (言います)。

**てっぴ** 【名詞】 かざみ てっぼがに参照 ワタリガニ科の大形の蟹 甲羅は横に幅広い 菱形で甲長約7cm 甲幅15cm位で鉋は強大で最後の歩脚は扁平で遊泳脚となる。雄は青緑色で、雌は暗紫色または暗褐色、昼は砂泥にかくれ、夜間に活動する。(志(布施田))

**てっぴき** 【名詞】 若い人 若くて元気な人 [会話] 若い、テツピキや (だ) 言うね (言うのです)。べつんも (特別に) 若若して びちびちしとる (している) やんない (でしよう)。若い テツピキや もんで (だから) 言うて、わしらんな (私達の組は) ほんどん (本当に) わかいしゅ (若い衆) で 十六な一番わこおて (若くて) その後みな はたち (二十) 代や もんでなあ (なので) 血気のテツピキやんかい (です) 鬼も十八 蛇も はたち (二十) 言うて

**てっぺん** 【名詞】 天辺 てへん (天辺) の転 物の一番高い所 最高 最上 (志(片田)、鳥(桃取、相差)、桑郡、桑市、員、三、四、久、一、松、多、上、阿、張、名、度) [会話] 山のテツペン、頭のテツペン。なんやかや (何や彼や) の 峠ん (上に) なつとる (なっている) 事を テツペンや (だ) 言うて、すテツペン や (だ) 言うやんかい (言います)。

**てっぼ** 【名詞】 1) 筒袖 てっぼうそで 鉄砲袖 袖下と脇の間に三角のまちを入れ、上げ下げをしやすくした筒袖 (志(布施田、甲賀)、鳥、桑郡、員、三、四、鈴市、安、上、阿、張、度、伊、南、熊) 2) うそつき ほらふき (志(布施田、甲賀)) 3) 鉄砲 末母音の省略 (志(布施田、磯部)、伊、桑市、員、三、鈴市、安、上、張、名、度) [会話] 1) 昔や (は) テツボンデ 言うて、鯉口みたよん して (ようにして) はらも (三角のもの) 入れて テツボンデや (だ) 言うて、今し (今) の子らな (達が) 着とんの (着ているのを) あいなのお (あんなのを) 着るやんか (着ます)。ここな (袖着けが) ひいろおて (広くて)、ここい (袖の下に) はらも (三角の布) 入れて すんのを なあ (するのを) テツボや (だ) 言うて、わしら (私達) な (が) 仕事 しはじめの時分にや (頃には) そいな (そんなのを) 着よおったわい (着て居たので

す)。3) 射る テツボ。2) 発破 (ほら) 言うて あんまり (あまり) どいらい (大きい) 事 言うて あや (彼は) まあ テツボで 言うて 発破 言うとさいご (言う時に) よお (よく) 言うやんかい (言います)。発破はだ (は) おっさい事 (大きい事) 言う人を 発破かけ や (だ) 言うわい (言います)。あや まあ (彼は) 発破 どっかんやど (だ) 言うて。

**てっぼうち** 【名詞】 鉄砲打 狩人 鉄砲を撃つ人 又、それが上手な人 (志(布施田 浜島)、鳥(答志)、上、阿、南) [会話] テツボウチ 今しや (今は) かりゅう (狩人) な (が) 来やんせんもんなあ (来ません)。それやよつて (それだから) たのき (狸) な (が) よけ (沢山) ふえて来て こお (子) もおけてな (産んでは) ふええして (増えて) てっぼや (狩人) な (が) ねえもんで (無いので) ふえる 一点張りや (一方です)。

**てっぼがに** 【名詞】 かざみ わたりがに 甲が菱形の蟹 てっぴ参照

**てっぼじょお** 【名詞】 鉄砲錠 錠前 [会話] テツボジョオ 言うな (のは) てっぼ (鉄砲) みたよん (のよう) してなあ、きいで (木で) こおして 竹でなあ 錠 つめんのなあ (つめるのを) じょおまい (錠前) の代わりになあ、寝る時 戸尻いなあ (へ) きい (木) で てっぼ (鉄砲) みたよん (のよう) してなあ 竹で しといてなあ (しておいて) かいらかして (倒して) 置くと まあ あかせんやんない (開かないでしよう) テツボジョオ や (だ) 言うて。

**てっぼそで** 【名詞】 袖口の狭い筒袖 てっぼ参照 (志(鶴方、浜島)、鳥(桃取、加茂)北) [会話] テツボンデ 言うな なあ (のは) 横に ほかん な (他のは) するけど (が) 縦に しといて (しておいて) ひうち 入れんの (るのを) それ テツボンデや言うね (と言うのです)。一巾ん (の) のおい (のに) はらも (三角布) 入れて それを、ひこ入れて 言うてな、働きよいよん (やすいように) 言うて、今し (今) 言うて、服の形やなあ (です) 袖を服みたよん (のよう) に ぼお (棒) みたよん してなあ すんので (するので) テツボンデや (です)。

**てっぼだま** 【名詞】 鉄砲玉 使いの者が行ったまま戻ってこないこと 行ったっきりであること、又、その人 (上、阿) [会話] テツボダマで 行たきり きやせん (来ない) 言うて、行ききつて (行ってしまつて) きやせん とあやま (彼は) てっぼのたま やなあ (だ) 言うて。

てっぽびし【名詞】 鋸 突き出す力にゴムの弾力を利用した鋸 ひし参照 [会話] 二本びしや(とか) 三本びしや(とか) 言うて、テッポビシや(と) 言うて、今し(今)の もんら(者達が) 持つな(持つのは)。

てっぽみたよなこと 法螺を吹く事 大事言い [会話] おっかい(大きい) 事 言うて あや(彼は) てっぽ(鉄砲) やよってん(だから) 言うてなあ 嘘みたよな(のよおな) ほんと(本当) みたよな 大きな事言うて あや(彼は) テッポミタヨナコト言うて。

てっぽもとどかん 大変な事 力及ばない事 途方もない とんでもない(志(布施田))

てっぽや【名詞】 狩人 獵師 てっぽううち 参照(志(国府、片田、越賀、布施田)) [会話] テッポヤ な(が) ねえもんで(無いので、たのき(狸) な(が) 増える一点張りや(ばかりだ)。

てっぽゆり【名詞】 百合 ユリ科の多年草 高さ 0.5~1m 鱗茎は偏球形で経約 0.5cm 葉は被針形で長さ約 15 cm 初夏、茎頂に白い漏斗状の花が横向きに咲き芳香が有る 和名鉄砲百合は花形が昔の鉄砲に似て居るからと言う。[会話] 百合 今しなあ(今は) よけ(沢山) 有るなあ、テッポユリは 今しや(今は) ふえて来て 幾らでも そこら ここらん(に) 生えとんね(生えているのです) テッポユリ。

てづま(手妻)【名詞】 手品 奇術 テダマ(手玉)の転(大言海)(桑市、員、三、鈴郡、鈴市、一、多、上、阿、名、度、伊、南、熊) [会話] テヅマ。 てづまとり(手品師) やなあ(だ) 言うてなあ、なんやかんや(いろいろ) てばしこお すん(る) のをなあ。あのひた(人は) てづまとり みたよな(のような) 事 すんない(する) 言うて。 テヅマ 言うて 手品の事 言うんやろなあ(言うのでしょうか)。

てづまつかい(てづまつかひ)(手妻遣)【名詞】 手品師(四) [会話] てづま 使うよおななあ(だ) 言うて。なんやかんや(いろいろ) てえ(手)で する事なあ(が) 人ん(に) 見せんと(見せずに) しゅしゅつと する人な(が) 有るわい(有ります) そすと(すると) あの人 テヅマツカイ やなあ(だ) 言うて 手品の事 言うんやろ(言うのでしょうか)。

てづまとり【名詞】 手品師(志(布施田))てづま参照

てづまり(手詰)【名詞】 手段、方法がなくなること 金銭のやりくりが出来なくなること 手詰が苦しくなる。

てづめ(でずめ) 出てばかり居る事

てつや。てつやれ 鉄だ 丈夫だ(志(布施田))

てづら。でめん(出面)【名詞】 仕事に出た日数 日雇い労働者、職人などが仕事をした日数 又、それに依って支払われる賃金 ツラ(面)を出す意(大言海) [会話] でび(出日) 言うのかい(言うのですか) テヅラ言うのは、でびつけて(記して) 有るかあ(有りますか) 言うて。出たひい(日)を でび つけるとか、行くと わがとらな(自分達の) 席な(の) 札裏返すとか、あおぬける(仰向ける)とか 言うところも 有るし、その工場によって 違うけど でび つけんのなあ(記入します)。出席、出席簿やけどなあ(です)。

てづる【名詞】 手掛り すぎるべき物

てつんで【名詞】 手伝いで ある仕事をするついで ついで参照(志(布施田)) [会話] てえ(手) な(が) だいこづけ(大根漬け) 出した 汚れたつんでん(ついでに) なあづけ(菜漬け)も 出せとか言うて。てえ な 汚れたつんでん まあ そのもん(物)を する言うの(のを) テツンデん言うて、仕事して(して) そのてえで 他の仕事すん(するのを) テツンデん(に) それも してくれ(下さい) 言うね(のです)。本当は ついでやけど(だ) が テツンデ言うのなあ(です)。

てて【名詞】 手 幼児語(志、津、上、阿、張) [会話] 子供らのてえ(手)を そやまあ(それぞれ) てえ(手) 汚して テテも 洗ろてこいまあ(洗って来なさい) 言うて、そしといて(そうして) 手 重ねて 頂戴せえ(しなさい) 言うのを お手 せえ(しなさい) 言うて。

てて【名詞】 夫(志、鳥)

てて【名詞】 父 チチ(父)の転(大言海) 父をテテと言うは方言に非ず。宇治拾遺物語に出たりに、ち と、てと通音なり。父の俗語也。俗にテテごとも云ふ。西国にて、ててらといひ、大和にてあんのうと称し、肥前佐賀にて別当といふ。南勢にて下男をも呼べり。小児詞に手をもいへり。神宮あたりの俗。父をテテ、母をヤヤといふ。父をテテといふことは俗言にあらざ。うつは物語俊蔭巻に、母はテテの手にもまさりて、大鏡巻七、テテこそ。(志(浜島)、鳥(神島、答志和具)、津、一、松、伊、度) [会話] わがの(自分の) ととを テテ言うて。おれいげ(俺家)の テテが言うて。 テテ親も 一緒や(です)。

てて【接尾語】 ところで 未然の逆態接続を示す(志(布施田)、南、熊) [会話] 畑は かやげて(刈りあげて) ごつつお(御馳走) 食うたテテ 麦飯やわい

(です)。

てて【接尾語】 ていって 一緒にして下さい

てておや【名詞】 父親 (志、鳥 (答志)、員、一) [会話] お父さんの事 テテオヤ。ててなしご (私生児) 言うんやんない (でしょう)。主の 判らんこお (子) を もおけると (産むと)、あや (あれは) ててなしご やなあ (だ) 言うて お父さんな 無いこお (子) をなあ。

ててかた (父方)【名詞】 父の系統 [会話] 十四か十五の頃ん (に) になると、初禪や (だ) 言うて、あつかい (赤い) 禪を テテカタの 叔父ご な (が) こおて (買って) くれんの (くれるのです)。

ててく 出漁する (志 (布施田)) [会話] 沖向いて (向かって) デテク。

ててく 出て行く (北)

ててご【名詞】 父 (津)

ててでっばっぱ【名詞】 山鳩の鳴声 転じて山鳩

…ててな【接尾語】 ても (志 (立神)、伊) [会話] そいな (そんな) 事 言うたテテナ 聞こかれ (聞くものか) あの人な (が) 言うて。テテナ 言うね (言うのです)。そんな事 言いましても 言うのを そげな (そんな) 事 言うた (言った) テテナ 言うて。

ててなしご (父無し)【名詞】 私生児 父無し子 父親が誰とも判らない子供 (志 (布施田、安乗、片田、御座、的矢、立神)、鳥 (鳥羽、坂手、国崎、相差、答志、神島、菅島)) [会話] 男の親な (が) 判らせん (判らない) のを テテナシゴ言うて、判つともだ (判っていても) 結婚しやへんの (しないのを) テテナシゴ言うの。判らんこた (判らない事は) 無いわい (有りません)、そんでも (それでも) 隠しとて (隠して) 言わせんね (言わないのです)。そやけど (それだが) 判らんのも (判らない) あんね (有るのです)。誰とでも 寝るもんで (ので) 誰彼と 寝てすや (すれば) だなこお (誰の子) やら、彼な子やらちもと (精子) な (が) 判らんのおな (のが) 有るわい (あります)。そいなのおを (そんなのを) テテナシゴ。死んだのおを そいなのおは (そんなのは) テテナシゴ 言わせんわい (言いません) やんない (でしょう)。ちゃんと 籬も入れて したのおは (のは) 死んだのおでも (のも)、戻ったのおも テテナシゴ 言わせんし (言わないし)、そやまあ (それは) あんねよって (有るのだから) 言わせんなあ (言いません)。若い時に 結婚せんと (せずに) もおけんのおを (出産するのを) テテナシゴ はるで (孕ん

で、妊娠して) 言うて。男は 判つとも (判っていても) 結婚せんなあ (しなければ) テテナシゴや (です)。

…てても といっても (阿、南、熊)

ててや【名詞】 父親

…てと と言うと (志)

…てど と言うぞ

でとおても 出たくても (志、津、名)

でどき (出時)【名詞】 出る時 出るべき時 [会話] 出る時を 言うんやるなあ (言うのでしょうか) デドキ言うて。

でどこ (出所)【名詞】 1) 出生地 故郷 生まれた家 2) その物の出產地 表れた背景 3) 嫁、婿の生家 [会話] 1) デドコな (が) 判らせん (判らない) 言うて、あやまあ (彼は) どっから (どこから) 来たもん (者) やかなあ (だろうか)。デドコな 判らせんと (判らないと)、デドコな (が) 判らせんなあ (判らない) 言う。生まれたとこ (所) が 判らん。2) そして 品もん (物) でも、こおた (買った) 事な (が) 判らんと (判らないと) デドコな (が) 判らん 言うて。盗だ (盗んだ) もん やら、もおた (貰った) もん やら デドコな (が) 判らへんない (判らない) 言うて。

てとて 手伝って (志、鳥、松、伊)

てとてくれ 手伝って下さい

てとてこい 手伝って来い

でとても 1) 出たくても (四、多、伊、尾、熊) 2) 出ているも

てどり (手取り)【名詞】 1) 自分の収入 実収入 2) 腕前のすぐれて居る人 [会話] 1) テドリ 言うな (言うのは) 売って 口銭を 取らんと (取らずに)、口銭 払わらったり (払わなかったり) まるっきり 貰うのを テドリ 幾ら 言うて。テドリはいくらどい (ですか) 言うたや (言ったら) テドリな 千円や (だ) なんも (何も) 口銭 貰わせん (貰わない) 言うて すん (する) のを テドリ言うて。テドリ 幾らで こおて (買って) 来た 言うて。なんやかや 物 売ったり、こおたり (買った) すんの (するのを) それの 値段すんのを (するのを) テドリや (です) 言う。

てどんな 手でする事が下手だ (志 (布施田))

てな【助詞】 …と言う事だ と言うようなのです (安)

[会話] 今日は 家い (に) 行くん (行くの) テナ言うたり、これ すんね (するのだ) テナ言うたり テ

ナ 言う時も有るし。

**てなあ【助詞】** 疑問を表す そうですね するそうですね [会話] 人に言う時は すんねテナア (するのだ) 言うて、自分でする時は すんねてや (するのだ) 言うて。

…**てなあ【助詞】** それです だから (志、安、久、一、阿、北、尾、南)

**てない** だそうです てわい参照 [会話] てわい 言うのは ちょいと 大人の人に言う言葉。テナイ 言うな (言うのは) わがとら (自分達) 同輩のもん (者) に 言うのん (のに)。

**てなおい (てなほし) (手直)【名詞】** 不完全な部分を繕い直す事 [会話] 人のした事 なおすのなあ (です) テナオシ。人のした事 あげん (あんなに) テナオシ して言うて 嫌う にげな (人間が) 有るわい (有ります)、わがと (自分が) した事 なおされる と 気分な (が) わりもんなあ (悪いです)。

**てなぐさみ (手慰)【名詞】** 博打

**てなこと** と言うような事 [会話] 今日は 皆 寄って来て くつろんで (気楽にして) 昔話して テナコトやるなあ (でしょう)

**てなづける【他カ下】** 自分になつかせ味方に引き入れる [会話] テナツケル 言うて、わが (自分の) 方い (に) 飼いつけんのなあ (つけるのです) わがと (自分) の方い (へ) テナツケル言うて、自分の味方にする 言う事や (です)。

**てなんながい (手長) 盗癖が有る** [会話] あや (彼は) ちょいと (少し) テエナ (手が) ナアゴオテ (長くて) 言うてな。盗みする人 テエナナガイ 言うの (のです)。あや (彼は) ちょいと 鍵やよってなあ (だから) てえ (手) な 先な曲がるやんない あや (彼は) 鍵や (だ)、テナ ナンガイのや (のだ) 言うてな

**てなねばい** 手のろい 手でする事が遅い てえなねばい参照 [会話] てえなねばい テナネバイ 言うて 手な おっそい (遅い) 事を

**てなはなれる (手離) 1) 完成する 2) 子供の養育が終わる 3) 病人の看護をしなくてもよくなる** [会話] <sup>2)</sup> 子供らな (達が) 世話な (が) かからんよおんなると (かからないように) テエ (手) ハナレタ 言うて、テエ (手) ナ ハナレテキタよってん 仕事も出来るわい (出来ます) とか。<sup>3)</sup> 病人も まあ よおなつて (よくなって) 来て テエ ナ ハナレテ 来たとか、てえな (手が) 掛からんよおん なん (な

る) のをハナレル 言うのなあ。

**てなはる** 手に余る 仕事の量が多い [会話] 仕事な (が) はる (一杯だ) 言う事な (です)。テナハル言うて 手に余る言うのを

**てなまある** 1) 仕事が早く出来上がる 手配りが充分に行き渡る 2) 後手になる 犯罪者 指名手配される [会話] <sup>1)</sup> テナマワル 言うて、仕事な (が) これもして あれもして言うて 仕事な (が) 終わった事 テナ (が) マワッテ 今日。今年は楽やよお (です) テナ (が) マワッテ 言うて。仕事 はよ (早く) きまると (終わると) テナ (が) マワル 言うて。てまあし (手回し) な (が) ええ (よい) 言う事。<sup>2)</sup> そんで (それで) テナ (が) マワル 言うて 盗みで警察い (に) 呼ばれると テナ (が) マワッテ 言うて言うやんかい。後手ん (に) 回った 言うて (言います) あや (彼は) なんやら (なにか) やらかして (やって・行って) 警察から テナ (が) マワッテン 来て ない (回っているようだ) 言うて。

**てにあわん。てにおえん** もてあます 手にあまる 手に負えない 自分の力ではどうにもならない おえない どうしようもない [会話] まあ (もう) おらな (俺の) こてん あわん 言うよおな事や (です)。おらな テニアワン 言う事、こや (これは) おらな こてん あわんわれ (合わない) 言うのも 一緒やなあ (です)。テナオエン 言うな (言うのは)。ぐれとて (ぐれていて) おらな テニ オエンわれ (負えません) あや (彼は) とか。男の親な (が) 無いよってん (から) おなご (女) 親だけで テニオエンわれ あや (彼は) 言うて ぐれてたり すると。

**てにかける** 1) 面倒を見てやる 手塩にかける 2) 叩く 殺す [会話] <sup>1)</sup> 面倒見る あやまあ (彼は) テニカケテ育てた 言うやんかい (言います)。あの子は おらの (俺の) テニカケテ 育てた子やもん なあ (だから) 言うて よお (よく) 言うやんかな (言います)。

**てぬかり (手脱)【名詞】** 不注意より生じた失敗

**てぬぎ。てぬぎい【名詞】** 手拭 (志 (国府)、鳥 (国崎) 阿)

**てぬぐいのにしめ (てぬぐひのにしめ)** 汚れた手拭

**てぬけ【名詞】** 抜け駆け 他を出し抜いて事を行なうこと

**てねば (手粘) てねばい (手粘)【形容詞】** 仕事や動作がのろのろしている てぬるい ねちこちする 参照 (志、鳥 (鳥羽)、南) [会話] テネバ言うのは

どんくさい、手な (が) おっそい (遅い) 事。のろくさい 手のろい (手ぬるい) 事を、なん (何) さしても (させても) ごてごてして はっきり しやせんのを (しないこと)。

**てのぐい (てのぐひ) 【名詞】** 手拭 (津、松、阿)

**でのくい** 出にくい [会話] しぎる 言うな (言うのは) よお (大便) な (が) デノクイのを しぎる。

**てのぎ。てのぎい。てのげえ。てのごい (てのごひ)**

**(手拭) 【名詞】** てぬぐい 手拭 手、顔、体などを拭うのに用いる布 本綿布が用いられ、タオルと区別される のごう 拭う ぬぐう 拭いて綺麗にする 拭き取る 取り去る (志 (片田、布施田、磯部、甲賀、安乗、鶴方)、鳥 (浦村 石鏡)、阿、桑郡、桑市、員、三、四、鈴郡、鈴市、安、津、一、松、多、上、張、名、度、伊、北、尾、南、熊) [会話] 手拭の事 テノゴイ 昔の人ら (達は) テノゴイ。テノゲ や (です)、テノゲ 被れ 言うてなあ テノゲ 被るか (被ろうか) 言うて、手拭 言わせんのなあ (言いません)。テノゲやたら (だとか) テノゴイ や (とか) テノグイ や (とか) 言うて。

**てのこぼ。てのこぼん 【名詞】** 掌 掌を受け皿の代わりにすること、手のくぼ (窪) の訛か (志 (甲賀)) [会話] 船霊祭りすると 船霊もち 皆な (が) 分けて テノコボンして 食うて。掌い (に) 載せて 食うのな (のが) 美味いの (のです)。

**てのこんだ** 手間のかかった

…**てのに** と言うのに [会話] 人ら皆 踊つとる テノニ、わしら いっしょけんめに (一生懸命に) 川ざらえ しとるながな (しているのです)

**てのひら 【名詞】** 掌 手首から先 物を握る時に内側になる部分 [会話] テノヒラ かやす (返す) よおなにげ (人間・人) やなあ (だなあ) 言うて、なんやかや 言うといておつて (言っておいて居ながら) まあ (もう) こんだ (今度は) 違う事 言うて 来ると、テノヒラ 返すよおな にげ やなあ 言うて。

**てのろい (手鈍) 【形容詞】** することが遅い てぬるい [会話] どんくさい 手な (が) おっそい (遅い) 事のろくさい。テノロイ事を ねちこちして はっきり しやせんのを (しないのを) てねばや (です)。

…**てのん** と言うのに てのに [会話] 昼飯や テノン 来やせんねない (来ないのだ)。

**でば (出刃) 【名詞】** 1) 包丁 魚などを料理するので背が厚く堅い物を切るのに適す ほっちよ参照 出刃といふも他国に無き物なり。他国にて云ル包丁なり。

其の刀の形、他の包丁と違いで張り出したるより云なり。包丁に此名あるは堺の鍛工に包丁に名のある人、出刃なりしより呼也といへり。(和訓栞) (志、鳥、(坂手、桃取、答志)、津、張、伊、北、南、熊) 2) 小刀 (志 (御座、布施田、志島、国府、浜島)、鳥 (神島 坂手)、度、伊、尾、南、熊) [会話] 包丁。切れもん (物) の事で デバ 言うのなあ (言うのです)。こまかいのおを (小さいのを) コデバ 言うて、なあがいのおを (長いのを) ほっちよ (包丁) や (だ) 言うて。ほっちよ 包丁言わんと (言わずに) ほっちよ。ほっちよ ふてた (なくした) 言うて 鳴く鳥な (が) おるやんかい (居ます)。しんが つ (四月) になると ほっちよ ふてたた ほっちよ ふてたた言うて 鳴く鳥な (が) あんねけど (あるのだが)、あや (あれは) なつと (何と) 言う 鳥やか なあ (でしょうか)。麦刈つとると (刈っている) 頭のそら (上で) よお (よく) 鳴くね (鳴くのです)。忠太小父の寝言には 雉に 燕に 鶯に かりがね (雁金) の鳴く声聞けば ちゃちゃ けんけん ちゃちゃ かりがね ほおほけきよ 鳥の鳴き声 皆 入 つとんね (入っているのです)。そお言や (言えば) ほっぼどり (鼻) は ほっぼ言うて 鳴い (いて) いて (いて) 後で ごろつきおとせ 言うねんなあ (言うのです) はっきりと。

**てばこ (手箱) 【名詞】** 身近に有るものを入れる小箱 [会話] “薬箱 テバコ テバコの中に あっかい (赤い) じよじよ (草履) と、汚いじよじよと、あかね (赤い着物) 着て御座る、京へ参るか (行こうか) 大阪へ参るか 大阪の道で とんと (完全に) 日が暮れて。テバコ言うのは 小さいもんで (ので) 言うん やるなあ (言うのでしょうか) 薬箱 テバコ 言うて。薬箱言うな (言うのは) 富山の薬売りな (が) よお (よく) 置いてきおつたなあ (置いて行きました)。

**てばしかい。てばしこい (手捷) 【形容詞】** 手捷しこい すばやい 機敏である [会話] 手早言うて 手ばよ おて (手早く) なんでもする人 手が早い人 テバシカイなあ 言うて。

**てばつとる** 飛び出している 偉らそうにする [用例] 道ん (に) 石な (ガ) デバツトル。

**てばな (手演) 【名詞】** 紙などを使わず手で鼻の一方を閉じて強い鼻息で涙を吹き飛ばすこと 指先で鼻汁を拭い去ること [会話] 田舎の娘。藁で けつ (尻) 拭く テバナ かむ 言うて。昔の人の言いぐさ (例え) 有りおつたやんかい (有ったで有りませんか)。

紙 使わんと (使わずに) てえだけで つこどいて (掴んでおいて) ぼん言うて 投げたんの (投げてやるの)、ほすと (そうすると) テバナ言うの。昔は紙は無いし 洩な (が) 出てくや (出てくれば) 鼻つこどいて (掴んでおいて) ふん言うて 吹き出したんの (てやります)。ふうん言うた 鼻吹き しとんない (している) 言うてなあ、なんでも 人な (が) もの言うても (話ても) ふんふん言うて 聞いとるやんな (聞いていると) はなぶきや (だ) 言うて 鼻でふん。

**ではな。ではな【名詞】** 1) 出かけるその時 (志 (布施田)) 2) 出花 物が出る最初のもの 茶のデバナ (南) [会話] 2) 新米な (が) 出で来たの (のを) はなや (だ) 言うて、デバナや (だ) 言うて。

**ではのきい (出刃の木)【名詞】** すずき かや参照 [会話] かや言うな (言うのは)。てえ (手) 切るもんで (ので) デバノキイ。

**てばや【形容詞】** 手ですることが早い すばやい [会話] 仕事すんのんなあ (するの)に てえ (手) な (が) 早いの (のを) テバヤ や (だ) 言うて

**てばやい (手早)【形容詞】** すばやい 仕事をするのが早い 機敏である てばしこい参照

**てばやのまんこ【名詞】** 仕事をするのが早い人 [会話] 手な (の) 早いもんで (ので) テバヤノマンコ 言うし 手な (が) ぬるい (鈍い) もな (者は) ねばねばやれ (だ) 言うて。

**てばよお** 手早く 早く [会話] テバヨオ 食うと (食べると) 箸使いな (が) はよおて (早くて) おらな (私が) 一口食うとるうちん (食べている間に) 二つ、三つ 食うねない (食べるのだ)。

**てばる (手張)【自ラ五】** 仕事の量などが多すぎて手に余る てこずる (志 (布施田)) [会話] 仕事な (が) はる事 テバル言うて、今日は仕事な (が) テバル言うて。仕事な (が) よけ (沢山) 有る事を、テバル言うて。仕事な (が) 余った事 仕事が 有り過ぎんのなあ (過ぎるのを)。

**てばる (出張)【自ラ五】** 1) 出過ぎる でしゃばる 2) 外の方へ飛び出る でっぱる 3) 出向く (志 (布施田)) [会話] 1) でしゃばる 3) 今日は 大将な (が) デバツテ来て 言うんやんかい (言います)。

**ではん (出番)【名詞】** 仕事に出る番 [会話] わし (私) のデバンは、きつと来る 言うて。

**てび (出日)【名詞】** 出勤した日 でづら参照 [会話] 出たひい (日) を デビ つける (記入する) とか、

札を裏返すとか デビ つけんのなあ (つけるのです)。

**てびき (手引)【名詞】** 1) 先導者 指揮者 2) 引き上げてくれる人 目を掛けてくれる人 [会話] 1) 盗人の デビキする 言うのも あるんやんかい (のです)。泥棒のデビキ あ の どころで 押入りな (が) 入る デビキした言うて。

**てびき (手引)【名詞】** 酒肴用の大皿 刺身や煮魚を盛り付ける大皿 てしよお 参照 (志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥)

**てびつとる** 外に飛び出ている 出っ張っている 出過ぎる [会話] ちよいと (少し) 石でも デビットルと (ていると) それも はつつたれ (削ってやれ) 邪魔 ん (に) なるし 危ないわれ (です)。

**てびる** 外に飛び出している 出っ張っている 出過ぎる ではる

**でぶしよお (でぶしょう、でぶしゃう)【名詞】** 出不精 外出嫌い 又その人

**でぶちん【名詞】** 太っている人 (安、鈴市) [会話] よお (よく) 肥えとんの (ているのを) デブチンや 言うて。でぼちん、どたすけや (だ) 言うて。

**てぶね (手舟)【名詞】** 四艘の舟で網漁をする時、魚を網に追い込む役をする舟 指揮者の乗る船 おきてぶねと、たかてぶね [会話] たかテブネ 言うて 石 積んどいて (積んでいて) 石 ほって (堀り投げて) 魚追うのなあ (追うのです)。

**てぶね。でぶね (出船)【名詞】** 出漁する事 港を出る船 (桑市) [会話] デブネ いらい舟。

**てぶねいわい【名詞】** 1) 初出漁の前に乗組員を集めてする宴会 (桑郡) 2) 出産前に妊婦にするお祝い [会話] 出船 入船 言うて じよお (漁) 舟 な (が) 入れて来て 鯉揚げといて (陸揚げして)、あしため (明日目) 出てく (行く) のを でぶね 言うて。2) 子供生む時は 子供な (が) 安産するよおん (ように) 言うて デブネイワイ 言うて 昔は よばれてきおった (御馳走になりに行きました)。こおの でづき (臨月) デフネイワイ よばんとおって (招待しないで居て) 言うて、ほおすると (そうすると) 食うと (食べると) すぐん はよ (早く) 行け 言うて 追い出すの。飯食うて 喋つとらんと (喋っていない) すぐん (に) 追い出しや (だ)、はよ (早く) 行け 言うて、すぐん 食い立ち (食べてすぐ席を離れる事) して来んの (来るのです)。デフネイワイ よばれると (招待されると) 落ち着いとると (ている

と) 腹ん (の) 中 こおな (が) 落ち着いて いつまでも 入っとる (入っている) 言うわけやわい (です)。 そやよってん (それだから) 早よ (早く) 出て来るよおに 早よ 行け言うて。デブネイワイ言うのは 出月になるとまあ 出月やよって (だから) デブネイワイ よばな (招待しなければ) はざんなあ (いけない)。 早よ もおけるよおに (出産するように) 言うて。

**てぶら【名詞】** 手に何も持っていない事 荷物が無い事 特に他家を訪問する時、土産を持って行かない事 [会話] なんも (何も) 持たんと (持たずに) テブラで来て 言うて、 なんも (何も) 持たんと しとんの (しているのを)。 土産 持たんと 行く事なあ (です) テブラで 言うし。 歩いとても (歩いていても) なんも (何も) 持たんと あや (彼は) テブラでぶらぶら しとる (している) 言うて。 テブラボンボン 言うのも 一緒や (です)。 旅行 行くのでも テブラで なんも 持たんと テブラで 行きたいなあ 言うんやんかい (言います)、 持つの (持つのが) ややこしがって (面倒臭がって)。

**てぶらばんばん【名詞】** 手に何も持っていない事 てぶらに同じ 参照

**てぶり (手振)【名詞】** 1) 仕事するときの手の動作 手の動かし方 2) 手でする合図 [会話] 1) テブリな (が) ええよお (よいのを) 見よまあ (見なさい) 言うてな 踊ってもなあ テブリなええし (がよいし)、 仕事してもなあ 仕事の しぶりなええと (仕方がよいと) テブリなええな (がよい) 言うて。 2) 手で 合図するのも テブリで まあ 言うてなあ 今し (今の) 手話やなあ (です)

**てぶりなええ** 仕事をする手の働きがよい (志 (布施田))

**てぶりなわり** 手付きが悪い

**でべそ【名詞】** 巻貝の一種 ツメタガイ タマガイ科の巻貝、潮間帯の砂泥底にもぐってすむ。殻は半球状で直径10cm位になる。表面は滑らかで上方は淡褐色、下方は灰白色を帯びる。殻口は半円形で大きく、角質の蓋が有る。 [会話] 貝も デベソ 言うのな (が) あんの (有るのです)、 そやけど (しかし) 売りん (に) 行くと デベサ (でべそは) ぜん (銭) に ならんでなあ (ならなくて) がらくたん (がらくたの) 中い (へ) 入れられよおったね (入れられて居たのです) そやけど (しかし) デベソ の 貝は綺麗でなあ

**てぼおき (てぼうき てばうき) (手箒)【名詞】** 1) 片手に持つ小さな箒 2) 手で箒の代わりにゴミなどを集める事 [会話] 1) テボオキ 言うて、 家ん (の) 中 掃くの (のを) テボオキ 言うんなあ (言いません)。そして 柄の なあがい (長い) のおわなあ (のは) 長箒 言うてな。

**てぼちん【名詞】** よく 肥えている人 (員、鈴市、安) [会話] よお (よく) 肥えとんの (ているのを) でぶちん や (だ) 言うて デボチン。

**てぼん (手盆手間)【名詞】** 掌を盆の代わりにすること 盆を用いないで給仕する事 [会話] 盆へ せんとだ (せずに) すまんけど (済みませんが) テボンでまあ 言うてな。

**てま (手間)【名詞】** ある仕事に費やす労力や時間 仕事 邪魔 (志 (浜島)) [会話] テマな (が) かかってなあ言う。 暇な (時間が) かかる事なあ。 暇な かかる事を テマヒマかかって 言うて 言うんかい (言います)。 テマヒマかかって 作ったのにおに (のに) 言うて。

**てまあし【名詞】** 手間 前もって用意すること 準備 手配 [会話] テマアシな (が) よおて言う 仕事をなあ はよ (早く) するとなあ あの家や (は) テマアシな (が) よおて (よくて) いつでも 仕事な (が) はよおて (早くて) 言うて

**てまい。てまえ【名詞】** 1) 手前 以前 前もって 2) 手前 お前 貴様 (桑郡、桑市、三、鈴郡、鈴市、安、一、飯、松、多、伊) 3) 以前は他に対する面目、体裁などの意

**てまえ** 1) 目前、手近 (志 (鶴方)) 2) 目的より自分に近い所 [会話] 1) こおそ (公租) 納めな (納めなければ) はざんのな (いけないのが) その テマエ に 期限な (が) 来ると こおそ (公租) 持って ござれよ (来なさい) 言うて。

**てまえがって (てまへがって) (手前勝手)【名詞】** 自分勝手 気儘

**てまえみそ (てまへみそ (手前味噌)【名詞】** 1) 自慢 2) 自分勝手

**てまかけてのお** 世話になりました てまらしたのお 参照

**てまくい【名詞】** 手間のかかる事、時間を多く必要とすること (志 (立神、国府))

**てましお【名詞】** 沖へ流れる西からの潮流 北西から南東に流れる潮流 さかしお参照 (志) [会話] 西から流れて来て 沖 むいて (向かって) 出んの (出るのが)

を) デマシオ。

**てましごと (手間仕事) 【名詞】** 1) 面倒な仕事 2) 暇を見てする仕事 (張) [会話] <sub>1)</sub> 手間のかかる仕事 やわい (です)。テマシゴト言うな (言うのは、念な (の) 要る仕事なあ (です)。てまひまかける 言うよって (から) 手間な (が) かかる仕事やなあ (だ) 言うて。

**でません 【名詞】** 乞食 門付などに対する拒絶の言葉 [会話] 乞食な (が) 来ると デマセン言うたれ (言うてやれ) 言うてな、乞食な来ると 言よおったの (言うて居たのです)。

**てまぞん (手間損) 【名詞】** 手数や時間ばかりかかって効果のあがらないこと [会話] テマゾン言うな (のは) してもなあ そんな (それが) 失敗に 終るもん で (ので)、手間賃な (が) もらわれやせんもんで (貰えないので) テマゾンなあ (です)。

**てまだい (手間代) 【名詞】** その仕事にかかった労働に対し支払われる賃金 [会話] テマダイ言うて こしらえらると 賃に言うのを テマダイ、その日給拂うのをなあ テマダイや (だ) 言うてなあ。

**てまぢん (手間賃) 【名詞】** 労働に対する報酬 てまだいに同じ

**てまとい (てまとひ)。てまだい (てまどひ) 【名詞】** 足手纏い 邪魔になる 手や足にまつわりついて行動の自由を妨げる事 又、そのような物やさま [会話] テマドイ。子供らな (達が) 邪魔すると よけ (あまり) テマドウナまあ 言うて。テマドオテ (どって) こいらな (この奴等が) 色々 と言うて。

**てまどらしたのお** 1) 辞去の挨拶 おじやました 2) 面倒をかけました 何かして貰った時の謝辞 [会話] <sub>2)</sub> 手間かけてのお (面倒掛けさせました) とか言うの (のです) 世話 (面倒) かける事をなあ (です)、なんか その人に たので (頼んで) 世話 (面倒) かけた事を テマトラシタノオ言うて 言うやんかな (言います)。なんも (何も) 別ん (特に) かけんでも (かけなくても) そんな 言葉や (です)。挨拶の言葉でなあ (です)。ちよいと (少し) 厄介 (面倒) かけると、テマトラシタノオ言うて。なんか 頼んだ時ん (に)。<sub>1)</sub> よその家 行て (行って) 帰って来る時ん (に) えらい (大変) てまかけてのお とか テマトラシタノオ とか、そお言うて、自分が家へ帰って来て 人な (が) おると (居ると) おやまあ (俺は) どいらい (大変) 手間どってなれ (手間取りました) あの家い (に) いたや (行ったら) 言うて。時間

がかかたて (かかってしまって) 言うて、なんか いなん (不要) 事 喋つるとなあ (喋っていると)。

**てまどり (手間取り) 【名詞】** 職人の仕事の下請け仕事をする人 手伝い人 手間賃をもらって人に雇われる事 又その人 (志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、南) [会話] 左官のテマトリや (とか)、大工のテマトリや、言うて 手伝いする事をなあ テマトリや (と) 言うのなあ。左官屋な (が) 壁塗つとん (の) ん (塗っているのに) 土 刺すの ん なあ (のに) 左官のテマトリや (だ) 言うて、土差し出すやろ (でしょう) ほと (すると) 左官屋な (が) ちゅつと 壁して (塗って) ほて (そうして) すつと 刺すと ちゅつと 塗ん (塗るのを) それテマトリ。

**てまどる。てまどる (手間取) 【自ラ五】** 多くの時間がかかる 思ったより時間がかかる [会話] 家へ帰って来て 人な (が) おると (居ると) おや (俺は) どいらい (大変) テマドツテナレ あの家へ いたや (行ったら)。

**てまひまかける** 手数や時間を多く使う。丁寧にしている。(志 (布施田))

**てまめ (手忠実) 【名詞】** 厄介な事も面倒がらずにする事 おつくがらずによく働く事 そのさま 手先の仕事の上手な事 まめ 忠実 まじめによく働く事 誠実である事 [会話] てえ (手) よけ (沢山) 仕事すると テマメな人 やなあ (だ) 言うし、手仕事 なん (何) でも よお (よく) する ひたなあ (人は) テマメで なん (なん) でも よお してなあ 言うてなあ あそん どんのな (遊んでいるのが) 嫌い やもんで (なので) 言うてなあ、テマメ言うとなあ よけ こしょこしょ と よお 働く事 テマメ なあ (です)。こしょこしょ と なん (なん) でも 気な (が) 付いて あれ もして これも して言うて すると テマメに よお 働いて なあ 言うて。

**てまわる (てまはる) (出回) 【自ラ五】** 1) 出歩く (南) 2) 世間に広く行き渡る

**てみず (手水) 【名詞】** 餅を搗く時、手間取り人が側に置いて手につける水 寿司を握る時手に付ける水 (志 (布施田)、南) [会話] 餅 搗くと テミズ な (が) 要るやんない (でしょう)。鮭やどき (など) してもなあ ちよいと (少し) テミズ も せな (しな) ければ てえ (手) へ、めつっぽ (飯粒) な (が) 付くよって (から) ちよいと 手 濡らしたり 布巾でしたり し といて (しておいて) すると、めつっぽ な

(が) 付かせんやんない (付かないでしょう)。そんなの (のを) テミズ。

**でみせ (出店) 【名詞】** 出居店 支店

…てみる **【補助動詞】** 試みる (鈴市、伊)

**でむかい (でむかひ) (出迎) 【名詞】** でむかえ 出迎える事 い、とえ、の訛

**でめ (出目) 【名詞】** 計量、計測する時に少し余分に出る事 又その出た量 [会話] ひとりまい (一人前) に 3kg、5kg 言うて かけると 組合渡すと まとめといて (ひとまとめにして) かけると (計量すると) ダメな (が) 出てくんね (来るのです)。一人や (だ) 言うて ちっさいの (小さい端数を) 読まんと (計らないで) ほっとくやんない (ほうっておくでしょう) そやもんで (それで) ひとくらん (一度に) 寄せると ダメな (が) 出んねやんかい (出るのです)。

**でめん (出面) 【名詞】** でずらに同じ 仕事に出た日数 [会話] 仕事した 日数をつける デメン 言うのや わな (です) 働いたひい (日)。

…ても **【接続助詞】** だけれど だが (志 (布施田)、鳥、亀、伊賀地方、北) [会話] 今日はまあ せんざり (十分) シテモ なんも (少しも) なららつたれ (ならなかった) 言うてな。

…てもた て、しまった

**でもと (手許) 【名詞】** 1) 資力 資金 生活 生活費 2) 身近 [会話] 2) テモトな (が) 狂う 言うやんかい (言います)。あの きれもん (切れ物) でもなんでも テモト 狂わすと あぶないど (ぞ) そや (それ) 言うてなあ。テモトな (が) くるた (狂った) とか、足元が くるた とか 言うて。1) 金がない時に テモトにのおてなあ (無くて) 言うて、ぜん (銭) な (が) 無い時ん (に) 今し (今) テモトに 置いとらへん (置いていない)。

**でもと 【名詞】** 出所 実家

…てもらう して貰う (鈴市、伊)

…てもらや して貰えれば (三重県全域)

**でもん 【名詞】** 女性器よりの不正出血 おりもの。[会話] デモンな (が) する言うて、おなご (女) の あのもんな (月経が) 出してもなあ デモンな (が) して 言うて、おりもんな (が) して とかな。

**でもん 【名詞】** 屁 放屁

**でもんはれもんところきらわす 【俚諺】** 放屁と腫物 (出来物) は場所を選ばない。何処でも出る。

**てや 【助詞】** 後助詞テに間接助詞ヤのついたもの (広辞

苑) 1) 文末に有つて念を押ししたり意を強めたりする (志 (布施田、立神、甲賀、国府)、鳥 (加茂)、鈴市、安、南、熊) 2) 命令形 しなさい [会話] 1) それやテヤ (それだ) 言うて、わしや (私は) 今日は あの家い (に) 行くんテヤ (行くのです) 言うたり、これ するんテヤ (するのです) 言うたり。これ 持てくんテヤ (持って行くのです) 言うたり。後でそれ すんねテヤ (するのです) 言うて。自分でする時は すんねテヤ 言うて。2) 早よ (早く) 歩けテヤ (歩きなさい) 言うて。

…てや 1) と言えば 2) と言うのに

…でや ですか なんデヤ (何故ですか)

**でやあす 【自五】** 出合 出合う 遭遇する

**てやい 【名詞】** 手 または 体でする合図 体の動作 [会話] 子供らな (が) テヤイ して来ると、げえしや (芸者) やなあ (だ) 言うて。おつきさも (大きさ) どげなのおど (どんなのですか) 言うて、このぐらい有つたれ (有りました) 言うて、テヤイして すん (するのです)

**てやい 【名詞】** 奴 奴等 てあい参照 (志 (布施田))

**てやい 【名詞】** 日の出 日の出前 [会話] 朝と夕方と いりやい (入りあい) と デヤイ (出あい) と あの日の加減な (が) ええんやるなあ (よいのでしょうか) 魚の浮いて 来ん (来るのが)。

**てやい 【名詞】** 出合い 互に場所を決めて落ち逢うこと 偶然に出合うこと

**てやう 【自ワ五】** 出合う 偶然に人や出来事にあう 出くわす 遭遇する (鈴市、鈴市、伊) [会話] ここで デヤウ てや (とは) よくせき (よくよく) やなけな (でなければ) 出やわせんわれ (出合わない) 言うて。常に そおゆう (言う) 事は 無いのに 行きあつた時ん (に) よくせきや なけな。

**てやざつた** 出なかつた [会話] 今日は なんやかや (いろいろ) したけど (が) 賃も、デヤザツタ 言うて

**てやすめ (手休) 【名詞】** 仕事をする手を途中でやめて休息する事 休憩 [会話] ひとばか (少し)、テヤスメ せえまあえ (しなさい)、お茶も飲めまあえ (飲みなさい) 言うて。ちよつと (少し) 休んで、お茶でも のもや (飲みましょう) 言う事やなあ (です)。一服 (一休み) せえ (しなさい) 言う事 やわなあ (です)。

**てやせん** 出ない (阿) [会話] しょんべ (小便) な (が) デヤセン。今日はなんやかや (いろいろ) した

けど(が) なんも(少しも) 賃も、出やらったなあ  
(出なかった) 言うて、出ない言う事、デヤセン 言うてなあ。

**てやて【名詞】** 手当

…てやて だそうだ(張)

**てやみ(手病)【名詞】** 手の病気や怪我

**てやみやせる、あしやみこえる【俚諺】** 手の病気の人は働けるので瘦せるが足の病気の人は働けないので肥える。

…てやら とか [会話] てっこおもり(山盛り) や(だ) テヤラ、押し盛りや(だ) てら 言うて

**でやらった** 出なかった [会話] 二百十日は 稲な(が) 出たり デヤラツタリ(出なかったり) しとる(している)。

…てやれ …だそうだ [会話] テヤレ 言うのと、てない 言うのと 有る。…やてわい 言う。

**でやれやせん** 出る事が出来ない 行けない(志、四、尾) [会話] あの人な(が) 言うて来たけど(が) 用事な(が) 有って デヤレヤセンわい(です) 行かれやせん(行けません) 言うの(のを)。

**でやれる** 出ることが出来る 行ける 外出が出来る(志、鳥、員、亀、一、飯、多、上、名、度、伊、北) [会話] 行かれる きんにや(昨日) 行かれらったけど(行けなかったが) 今日は デヤレルわい(です)。

**でやれん** 出れない 行けない(志、四、津、張、度、熊) [会話] デヤレン 行かれやせん(行けない)、行かれません 言う事な

**でやわん** 出合わない(三)

**でやん** 出ない(員、鈴市、一、松、上、阿、張、名、尾) [会話] なんも(少しも)、デヤン、しょんべ(小便)も、はこ(大便)も、デヤン。

**でよ** 1) 出なさい 2) 出よう(志、鳥) [会話] 1) 今日 はがっこ(学校) い(へ) デヨ 奉仕な(が)、あんねよって(有るのだから) デヨ、言うて。今日は神社の掃除 やよって(だから) みんな(皆) デヨ 言うたりな。

**でよおじよお(でよおじょう、でやうじやう)【名詞】**  
出養生 他所に出かけて養生すること 入院 [会話] デヨオジョオ ん(に) いとる(行っている) 言うてな。病院へ 行くとなあ(入院すると) デヨオジョオ ん(に) いとんねてわれ(行っているそうだ) 言うて。

**でよかい。でよかな(女性語) でよかれ** 1) 出ません 2) 出ないでしょう 来ないでしょう

**てよき(手斧)【名詞】** 片手で用いる小さな斧 なた(鉞) 参照(松、飯、多、上、阿、伊、南) [会話] テヨキと、大よきと有って。テヨキは 割木を ぼんと 割って 振って すんのを(するのを) テヨキ言うし、大よき言うのは ふやげといて(振り上げておいて) どいらい(大きい) のおを(のを) ぼん(二つ割り)にすんのを(するのを) 大よき言うの。

**てよごさず** 何もしない 何もしないで食べられる [用例] テヨゴサズで 喰うのな(のが) 一番 ごつ つおや(御馳走だ)。

**でよた** 出合った [会話] こいな(こんな) 時やのおに(なのに) よお(よく) デヨタナア。

**でよて** 出合って(志(布施田)) [会話] あんた(貴様) な(が) 来る、わし(私) も行く言うて 丁度、デヨテ言うて。

**てよわ(手弱)** 力が弱い事 弱々しい事 [会話] かよわい 女を いじめんな(るな) 言うてな 弱いもん(者)を、言うのなあ(です) テヨワ、とか、かよわい

**てら【名詞】** 博打場の札銭(志、鳥)

…てら とか [会話] 肩のやげ や(だ) テラ 腰のやげ や テラ 言うて。肩い(に) すんのな(するの)が 肩のやげ、腰い(に) すんのな(するの)が 腰のやげ

**てらおや【名詞】** 住職の仮親

**てらくら【名詞】** 愛想 [会話] テラクラ 言うた、愛嬌な(が) よおてな(よくて)、どげんも(どんなに) せえ(しなさい)、こげんも(こんなにも) せえ 言うて、世話やいてくれんのを(るのを) テラクラ。ほちゃほちゃ してくれんのをな。 がいん(あんまり) おらな(俺が) いたてて(行っても)、テラクラ 言わせんし(言わない) 言うてな

**てらす(照)【他サ五】** 1) 比べあわす 比較する、てらしあわせる 2) 光を当てる [会話] 2) 日に テラス あかり(燈) つけといて(ておいて) 来い 言うの、あかり てらしといて 来いまあ。1) これと、あれと テラシアウ、物を較べる事をなあ テラス 言うて。てりあわしてみよ(比較してみなさい) 言うて。

**てらぜわ【名詞】** 寺の世話役

**てらせん【名詞】** 博打場の札金

**てらや(寺屋)【名詞】** 寺子屋

**でられる** 出る事が出来る(志、員、四、亀、安、津、一、阪、松、多、上、名、度、北)

**てり(照)【名詞】** 1) 日の照る状態(北、尾) 2) 光

沢、寿司につける調味料 つやを出すために塗る醤油、みりん、砂糖などを加えて煮詰めた汁 [会話] 2) 鮓につける テリ。煮詰の事なあ (です)。テリや (だ) 言うて。1) ヒナテリ (日の当たる所) や (だ) 言うて、日な (が) 照って 来ると ヒナテリ い (へ) 行て ぬくとまっとりや (暖まっていますよ) 言うて、日当たりの ええとこ (よい所) へ。今日は テリな (が) きっつい (きつい) なあとか。ヒナテリ 言うて 日な (が) 照つとる (照っている) とこ (所) 言うのなあ。ヒナテリで ぬくとまっとり (暖まって) 言うのなあ (のです)。ヒナテリ やら (とか) ひなた やたら (とか)。ひなたぶくろ (日に当たって温まって) しとるてやら (しているとか)、ヒナテリで 色 黒まして (黒くして) そや (それ) 言うて、冬の頃なら ヒナテリに おると (居ると) 真っ黒に なっててなあ (行つて)。ヒナテリで まあ (もう) 色 真っ黒にして おられ (居る) 言うて。テリな (が) きっつい (きつい) 言うのは 太陽の光りな (が)。鮓 つける テリ あや (あれは) につめ 言うんけど (言うが) テリ つける たら (とか) 言うもんなあ (言います)。ほんとは (本当は) につめやけど (だが) なんか 光沢な (が) 有るもんで (ので) 言うんかいのお (言うのでしょうか)。光ったよおん (ように) しとるもんなあ (しているから) テリは。

**てりあがる (照上) 【自ラ五】** 強い日差しが連日続く  
夏に好天がが続く

**てりあわす (てりあはず) 【他サ五】** 較べる 照合する  
[会話] テリアワス。あれも これも 一緒ん (に) 置いといて (ておいて) テリアワスと ええ (よい) わり (悪い) な (が) わかられ (判かる) 言うてなあ

**てりかやし (てりかえし、てりかへし) 【名詞】** 1) てりかえし 照り返すこと 反射 (北) 2) 禿げ頭  
[会話] 1) 日な (が) 照って テリカヤシで まあ あたたいわれ (暑いです) 言うてな、2) 頭な (が) きんか (禿) の人も テリカヤシやなあ (だ) 言うんかい、光つとると (ていると) あやま (彼は) テリカヤシやなあ (だ) 言うてな。

**てりこお 【名詞】** 手利口 手でする事が上手なこと、また、その人 (志 (布施田)) [会話] 手ですんのな (するのが) 上手な ひた (人は) テリコオ な (だ) 言うしなあ。

**てりつけ 【名詞】** 日の当たる所 日射し (南、熊) [会話] 日な (が) よお (よく) あたんで (当るの

で) テリツケて あたとおて (暑くて) 言うてな 軒で、ひなたぼっこすんのんな (するの) おおた、テリツケて、ええ (よい) とこやなあ (所だ) 言うてな。ぬきたい (温かい) とこ をなあ。

**てりつける (照付) 【自カ下一】** 日光が激しく照る [会話] テリツケテ、まあ ぬきたいねてや (温いのです)。土手いなあ テリツケテまあ 日な (が)、そすと (すると) その反射でも、あんで (あれで) ぬきたいん (温かい) やるなあ (のでしょう)、土手抱えとるとなあ (ておると) まあだ ぬくとおて (温かくて) 此処ん (に) おると きもん (着物) も なんも (少しも) いなんわれ (要りません) 言うて、ひきのげやあるいて (脱いで)、テリツケル 言うのは 日当りのええ (よい) とこで (所で) よお (よく) 照る事。

**てりふり (照降) 【名詞】** 1) 照ったり雨が降ったりすること 2) 機嫌が変わって定まらない事 3) 陰日向 (員) [会話] 1) テリフリ ナシに、働いて言うて よお (よく) 働く人をなあ。雨な (が) 降つても、畑や (とか) たあ (田) い (へ) 出るやんない (出掛けるでしょう) 雨な (が) 降つても、照つても テリフリ なしん (無しに) 働いて言うて。雨な (が) 降つとる (ている) 時でも 天気の時でも 働きおつた (居ました)。雨な (が) 降つたて (降つても) 蓑笠着てなあ 雨な (が) ふや (降れば) 蓑や (とか) 笠をつけて 濡れて来ると 家い (へ) 来て 着替えてな。また、飯食うて その でんのん (出掛けるのに) つらましの (つらいのが)、てえ (手) は ほとべて (ふくれて) しびれて来るしなあ。3) テリフリで かげひなたなく 働いて言うやんかい (言います)、人な (が) 見とても (見ている) 見とらんでも (見てなくても) 真面目に 働いとる (ている) 人をなあ テリフリ無しん (に) 働く言うのなあ (です)。

**てりふりなし** 影、日向なし いつも真面目に働いて居る。てりふり参照

**てる (照) 【自ラ五】** 輝く 映える 立派になる [会話] 座敷な (が) テル (映えている)。本膳で、朱膳でなあ 二の膳つき 座敷な (が) テル (映えた) 言うてな あっかい (赤い) 膳でなあ 本膳つきん (に) するとなあ、膳ぐるりいっとするとなあ (ぐるりつとると) 座敷な (が) テンネ (映えるのです) まつかんなあ (真っ赤に)。座敷な (が) テル 言うて。おらげや (俺家は) 並の上の ごつお (御馳走) やもん (だから) 言うて、普通の膳 すると、並の膳部

や(だ)言うし 並の上 言うな(のは)二の膳え  
こんだ(今度は)三の膳 付けんのなあ(るのです)  
並の上 言うなのなあ(のは)。そしたや(そうした  
ら) おら(俺は) じょおっく(いつも) 波の上のごっ  
つお くとんね(食べているのだ) 言うて 舟でじょ  
っく、飯、食とる(食べている) やんない(でしょ  
う) 夏中 おら(俺は) じょっく 波の上のごっつお、  
くとんのん(食べているのに) 言うて。

でる【**自ダ下**】出漁す

でるとこいでる。でるとこえてる 公に訴える [用例]  
デルトコイデテ はっきり しよおやんかい(しまし  
ょう)。

てれくさい(照臭)【**形容詞**】気恥ずかしい きまりが  
悪い [会話] 恥ずかしのおを(恥ずかしいのを) テ  
レクサイ、恥ずかしがとると(がっている) テレ  
クサガツンナイ(がっている) あやれ(あれ) 言う  
やんかい(言います)。照れる 恥ずかしそん(そう  
に) しとるの(しているのを) テレクサイも 一緒や  
んなあ(です)。

てれこ【**名詞**】恥ずかしがり

てれしよ【**名詞**】照れ性 少しの事でもすぐ恥ずかしが  
る事 又、そのような性質 それを持っている人  
[会話] はじかみや。恥かしがり屋。恥かしがんのな  
あ(がるのを) テレシヨや(だ) 言うてな、あやなあ  
(彼は) てれや、やなあ(だ) 言うたり、ちよいと  
(少し) しても 恥かし言うて すっこんでく(で行  
く) にげ(人間) も 有るもんなあ(有ります)。

てればれ【**副詞**】盛んに [会話] 家な(が) ばんばん  
(盛んに) しとる(している) 時や(は)、なんも  
(あれも) くよ(くれよう) かも(これも) くよ 言  
うて、貰うもんで(ので)、テレパレン(に) 言うて  
くけど(言うて行くが) びんぼ(貧乏) ん(に) なっ  
て来て、なんも(少しも) はざんと(いけないと) 相  
手ん(に) しやせん(しませぬ)。

てれや【**名詞**】恥ずかしがり すぐ恥ずかしがる人  
[会話] あやまあ(彼は) テレヤ やなあ(だ) 言う  
て。ちよいと(少し) しても 恥ずかし言うてすっ  
こんでく(で行く) にげな(人間が) 有るもんなあ(有  
ります)。

てれる【**自ラ下**】きまり悪そうにする 恥ずかしそう  
にする 間の悪い思いをする [会話] テレトシネ  
(ているのだ)。恥ずかしがって あの人な(が) き  
とて(来ていて) 恥ずかしわ 言うてなあ 言うの  
の(を) テレル。テレテ あの人な(が) きとる(来

ている) もんで(ので) 言うて。

でれる 出る事が出来る(志、桑市、三、四、鈴市、一、  
阪、多、北、南)

てれん(手練)【**名詞**】人を騙す手段 だますこと

でれん 出られない(桑郡)

てれんす【**名詞**】上手を言う お上手 [会話] テレン  
ス言うのは 上手言う事をなあ。おる時や(は) おお  
た こいな(こんな) 高価な もん(物) くれんのか  
い(くれるのですか) 言うて、後で おおた こいな  
あやかしたよおなもん(馬鹿にしたような物) 言うて、  
おる時や(は) テレンス言うて 上手言うて、まいす  
こいて、まあ 上手に言うとか(言っておく) 事やわ  
い(です)。

でれんそお【**名詞**】泥酔状態

てれんてくだ【**名詞**】人を騙す方法 手段 [会話] テ  
レンテクダでああ言うて よお(よく) 言うやんかい  
(言います)。テレレンテクダ 言うな(のは) 嘘を言  
うのをなあ、人 だましたりするやんない(でしょ  
う)。テレレンテクダ よお(よく) 言うやんかゝ。

てれんばれん【**副詞**】はきはきしている様 はっきりし  
て居る事 [会話] 人ん(に) おおても(逢っても)  
ものも言わせんし(言わないし)、言うても(言っ  
ても) がいん(あまり) テレンバレン言わんなあ(言わ  
ない人は) 人づきやい(人づきあい) な(が) わりわ  
い(悪いです)。

…てわ【**接尾語**】そうだ そうです 伝聞の意を表す  
(志、鳥(加茂))

…てわい …だそうです わい 終助詞、文末にあつて  
詠嘆をこめて確認を表す わ+い わ 上代語 間投  
助詞 文末に有って発言内容の確認を表す(志(立神、  
志島)、鳥) [会話] よお(よく) 似た言葉やけど  
(だが) 人に言う言葉と 自分だけが 言う言葉と  
違うなあ(のです)。てやれ 言うのと てない 言  
うのと 有るし、…やテワイ 言う。テワイ 言うの  
は ちよいと(少し) 大人のらん(達)に 言う言葉。  
てない 言うな(言うのは) わがとら(自分達) 同輩  
のもんら(者達) ん(に) 言うのんなあ(言うのに)。  
テワレ 言うななあ(言うのはね) 子供らやなあ(達  
とか) 同輩のもんら(者達)に 言うな(言うのは)  
テワレ 言うてなあ。すんねてな(するそうですね)  
言うのは ちっちゃい(小さい) 子らなあ(子供達  
です) 目下のもんら(者達)になあ。

てわけ(手分)【**名詞**】同じ仕事を何人かが分担して行  
う事、人手に分ける事 [会話] 人数 あんた(貴

方) どこい (へ) 行けえ (行きなさい)、ここい (へ) 行けえ 言うて すんのを (するのを) テワケ、今日は 誰やら (か) 家出してた (していった)、テワケして 奥山探しん (に) 行た言うて。テワケして そおど (騒動) した事な (が) 有るやんかい (有りませう)。

**てわたし (手渡) 【名詞】** 手から手へ受け渡す事 手から手へ順次に渡す事 [会話] テワタシ。てえ (手) と、てえ (手) で渡すのなあ ておくりも一緒や (です)。

**てわれ** だそうだ (志) [会話] あの子げん (家に) いたんテワレ、あの家い (へ) 嫁ん (に) いたん (行った) テワレ言うて、嫁ん (に) 行きましたとかなあ行つた そおです 言うのをな。

**てわるさ (手悪) 【名詞】** 手遊び

**でん (伝) 【名詞】** 手段 方法 事柄 (志 (甲賀)) [会話] デン。いつもの デンや (と) 言うの。いつものデンで又 来てくれえ (来て下さい) 言うて よお (よく) 言うやんかい (言います)。いつもの通り言う事をなあ いつものデン。いつものデンで 又 頼みん (に) 来たよお (来ました) とか、言うて じよつく (いつも) いとる (行っている) 時の言葉や なあ (です)。いつものデンで 頼みん (に) 来たんよお (来ました) とか、貰いん (に) 来たよお とか言うて。

**でんか 【名詞】** 癲癇 痙攣 意識障碍の発作を起こす脳の疾患、遺伝の外 外傷 腫瘍でも発生する (志 (越賀、布施田、片田、国府、浜島)、鳥 (桃取 坂手)、松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾)

**でんがい (天蓋) 【名詞】** 上から覆い被がせるもの 寺の飾り ガイ (蓋) は覆蓋の義 [会話] 葬式のあれなあ テンガイ。

**でんがく 【名詞】** 田楽 おでん (尾)

**でんかさん (天下様) 【名詞】** 我儘者 [用例] 一人娘で テンカサン に育つた。

**でんかもち。でんかやみ 【名詞】** 癲癇発作の習慣性のある人

**でんから 【副詞】** 天から 頭から 最初から てんでアタマ (天窓) より生じた語 (大言海) [会話] 初めから 言う事や らなあ (でしょう) テンカラ 言うのは。

**でんがらもんがら 【名詞】** 無一物 [会話] テンガラモンガラ なんもかも (何も彼も) 無いよおん (ように) したると (してしまうと) テンガラモンガラ ん (に) なつた言うて。なんも (何も) 無いよおん (よ

うに) したると (してしまうと) テンガラモンガラ ん (に) したたよお (してしまった) 言うて 空ん (に) したた (してしまった) 事なあ。

**でんかん 【名詞】** 子供のひきつけ (熊)

**でんき (天気) 【名詞】** 1) 晴天 気象の状態 2) 気分 気持 [会話] 1) 雨な (が) よけ (沢山) 降るとくろはえで、テンキン (に) なつても ませ (南風) な (が) 吹いたり すると しろはえ や (だ) 言うの。

**でんき 【名詞】** しびれえい シビレエイ科の海魚 全長 40 cmに達す。背面は灰褐色で所々に黒斑が有り、腹面は白い 頭と胸鰭の間に 20~30 ボルト位の発電量を持つ一對の発電器が有る。しびれえ参照

**でんきうお。でんきえ 【名詞】** しびれえい でんき参照 (志、鳥)

**でんきやおちや** 雨になる

**でんきんばしら 【名詞】** 電柱 [会話] 電信柱や (だ) 言うなあ (言います) 電柱も 言うなあ。デンキンバシラ ぼんやり 立つとると (立っていると) デンキンバシラな (が) 立つたよおなあ (ようだなあ)。

**でんぐ 【名詞】** 魚 てんぐだい スズキ目 カワビシヤ科 テングダイ属 体高は高く、強く側偏して居る。背鰭は大きく背鰭第4棘は、第3棘の2倍有り、下顎に多数の小さなひげや密生している 吻は突出する

**でんぐさ 【名詞】** 天草 てぐさ参照

**でんぐさのおば 【名詞】** 海草 ひらくさを始めてする てんぐさ属 ひらくさ、体の高さ 20~30 cmの大型のてんぐさで、時として 1mに達し、巾も 5mmに達する漸深海 深部の岩上に大きく群落を作る (三重県全域) [会話] テングサノオバ。おばかずき や (だ) 言うてなあ、ふっかいね (深いのです) おばかずきは、なめり (粘り) な (が) 多いか すけないか (少ないか) でだ、ねえ (値) な (が) 違うんやんかい (のです)。おばわ あいね (のです) じよおてん (上天草) 言うな (のは) きぬくさ (絹天草) の事、言うんなし (言うのです)。

**でんぐさのはな 【名詞】** いとしのぶ、イギス科の海藻、高さ 7~10 cm、漸深海に生ず

**でんぐざめ 【名詞】** うばざめ ウバザメ科 口や鰓穴は大きく、鰓穴は体の背縁から腹縁近くまで開く。尾鰭下葉が発達し、全体に三日月型である。じんべいざめに次ぐ大型の鮫で、通常 10mになる。(志)

**でんぐす 【名詞】** てぐすさん (楓蚕) 幼虫の体内からとつた絹糸 釣糸 漁糸 外科用縫合糸に用いる。てぐ

すさんは、やまゆり蛾の一種 てぐす参照(鈴市、松、伊)

**てんくら**【名詞】嘘 たわごと ごまかし てくら 手練手管(志(布施田、志島、甲賀)、南)[会話] な んやかや(色々) 騙すのおを(のを)、人を ごまかすのおを(のを)、テンクラする言うて あや(彼は) テンクラモン(者) やどお(だ) 言うて。

**てんくらもん**【名詞】でたらめを言う人 てんくら参照(熊)

**でんぐりかえし**(**でんぐりがへし**)【名詞】1) 転倒させること 2) 裏表を返す事 裏返す事 [会話] ②) デングリカエシ、ひっくりかえし 言うのも 一緒や(です)。①) デングリカイツタ(返ったのだ) 言うて、子らな(子供が) よお(よく)、しよおったなあ(して居ました)、頭、下ん(に) して、くるつと かいると(回転すると) デングリカエシ、して、言うて

**でんぐりかえす**(**でんぐりかへす**)【他サ五】引っ繰り返す(志(布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、鳥(鳥羽))[会話] なんもかも(なにもかも) こねて デングリカエシトイテ(ておいて) いたね(行っただ) 言うて。底から こねん(る) のをなあ、デングリカヤス言うてなあ

**でんぐりかえつとる**。**でんぐりがえつとる** 1) 引っ繰り返して居る、倒れている 2) 湯が沸騰している

**でんぐりがえり**(**でんぐりがへり**)【名詞】ひっくり返ること とんぼ返り 空中回転 [会話] デングリカエリ 言うのは、ひっくりかえる。

**でんぐりかえる**(**でんぐりがへる**)【自ラ五】1) ひっくり返る 2) 乱雑に散らばっている(志(浜島、鶴方、神明、立神、国府))[会話] ①) 怒って 腹の虫な(が) 治まらん(治まらない) 時も 腹の虫な(が) デングリカエル、デングリカエル ひっくり返る。

**でんぐりかやす**【他サ五】1) 順序をめちゃくちゃにひっくり返す(鳥(鳥羽)) 2) 倒れる 転ぶ [会話] ②) でんぐり返ったよお 言うて、うてかえつてくと(ひっくり返ると)。畑 うつ(耕す) のでも 早よ(早く) デングリカエセ 言うて。胸ぐるし(吐き気) なって来ると 胸 デングリカエツテキタヨオ(来ました) 言うのなあ。ほて(そして) ものすごお(大変) ごおなわく(腹が立つ) 時でも まあ ごおなわいて ごおなわいて デングリカエラレ(返る) 言うて、むし(腹の虫) な(が) デングリカエツ

テキタレ(来た) 言うて。人ん(に) なんか わり(悪い) 事 言われて まあ ごおなわいて ごおなわいて する時ん(に) ごおなわいて ごおなわいて 虫な(が) デングリカエラレ(返る) 言うの。

**でんぐりかやる** 引っ繰り返る 倒れる(桑郡、桑市)  
**てんけえびよお**(**てんけいびよお**、**てんけいびやう**)  
(**天刑病**)【名詞】ハンセン氏病

**てんこもり**(**天盛**)【名詞】飯を盛り上げた状態 山盛り 高く盛り上げる事(志(浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥)[会話] もやげる(高く盛り上げる) 事を テンコモリ 言うてなあ、てっこお盛って、はげしいやれ(一生懸命食べる) 言うて。てっこお盛って、間崎な(が) 見えやせん(見えない) ほど 盛って 言うて よお(よく) 言うやんかい(言います)。もやげるのを(盛り上げるのを) テンコモリや(だ) 言うの。

**てんじょ**【名詞】天井 室内の上部を区画し、小屋組などの構造体を覆いかくし、室内空間を構成し、又、熱などを遮断調節するために設けられた仕切り(三、員、三、鈴郡、鈴市、一、張、伊)[会話] テンジョは天井。テンジョ無しや(と) 言うやんかい(言います)。なんも(何も) 無いと、青テンジョ(空の色) で まあ なんも 無しや(だ)、テンジョ無しや(だ) 言うて。ほて(そして) 結婚しとらせんと(していないと) おじぼし(小父法師) を あや(彼は) 青テンジョで 言うなあ。そて(そして) じゅうよおな(気儘な) のおも(のも) テンジョ無しん(に) 育って 言うしなあ。気儘言う人を あや(彼は) テンジョ無しん(に) 育つとんねよつてん(育っているのだから) 言うて。

**てんじょいた**【名詞】天井板 天井に張った板 [会話] てんじょ(天井) の板、かんぜとる(かぞえている) 言うなあ、具合な(が) わりて(悪くて)、ひがないち(一日中) 寝とると(寝ていると) テンジョイタ かんじえとる(かぞえている) 言うて。

**てんじょうら**【名詞】天井裏 屋根と天井の間の部分 [会話] 鼠小僧で、テンジョウラ 匍うのをなあ、天井と屋根の間 それい(それへ) 皆 薪入れたり 使わんもん(物) にかえ(二階) い(へ) ほやげとけ(放り上げておけ) 言うて。

**てんじょなし** 1) 次男以下を言う てんじょ参照 2) 制限のないこと 3) 物価の高騰 4) 気儘に育つこと

**てんじょまい**【名詞】出奔 行方不明 [会話] どこや

かい (何処かに) とんでくと (出奔すると)、あや (彼は) テンジョマイ してて (していつて) おらせんわれ (居ません)。

**でんしんばしら** 【名詞】 1) 電柱 でんきんばしら 参照 (張) 2) 背の高い人 (張)

**でんち** 【名詞】 懐中電灯 [会話] 人ん (に) 当たると よさり (夜)、デンチも無いし、暗がりやんない (暗いでしょう)。逢うと おいしよ 言うて、誰ん (に) でも そして (そんなに) 言よおったの (言うて居たのです)。

**でんち** 【名詞】 田や畑 土地 田地 (鈴市) [会話] デンチでも 貸しとて (貸していても)、のけ (どきなさい) 言うても のかせんの (どかないのを) 責める。

**でんちもち。でんぢもち (田地持)** 【名詞】 財産家 でんち 田地となっている土地 (志 (神明、志島、甲賀、国府)) [会話] たあ (田) や畑 山な (が) あんの (を (あるのを)) デンチモチ。

**でんで** 【副詞】 少しも 初めから 全く、初めから考えてみるまでもないさま 多く打ち消しの語を伴って用いる (鳥) [会話] テンデ 判らせんねよつて (判らないのだから) 言うて、なんも (何も) 判らせんとさいご (判らないと) テンデ なんも 判らせんねよつて 言うなあ (言います)。そして 沖 行て (行つて) 魚 釣らんでも (釣れなくても) テンデまあ (少しも・全く)、ひとつも 食わえんで (くわえなくて) 言う事も 言うのお (言います)。その時は 少しも 言うよおな。話 しとて (していつて) あえなもん (あんなもの) テンデ 初めから 相手になろか (ならない) テンデ 話にならせん (ならない)、言うて、全然判らせん (判らない) 言う事 やるなあ (でしょう)。

**でんで** 各人 (桑市)

**でんでこまい (天手古舞)** 【名詞】 忙しい事 せわしい事 (志 (布施田)) [会話] 忙して (忙しくて) テンテコマイ 言うて、それん (に) あの やさやきのそれ、テンテコマイ して来て きりきり はつよお (早く) まある (回る) やんない (でしょう)。あれを テンテコマイ 言うて 言うもんで (ので)、忙し (忙しい) 時ん (に) あれもして これもして 言うもんで (ので) そんで (それで) テンテコマイ 言うねやるなあ (言うのでしょうか)。忙して (忙しくて) テンテコマイやつたよお (だった) 言うんよつて (言うのだから)。今日は まあ 仕事な (が) よけ

(沢山) あつて 忙して 忙して テンテコマイやつた (だった)。

**でんです** 【名詞】 海魚 てんす てす参照 (志)

**でんでに** 各人 それぞれ 各人勝手に 銘銘に (桑市、上、阿) [会話] テンデニ 言うな (のは)、それぞれに 言う事やんない (です)。めんめん (銘銘) にとか、めんめんに こお せえ (しなさい) 言う事やなあ (です)。

**でんでん** 【名詞】 頭を言う幼児語 (志 (浜島)、一、張)

**でんでん (転々)** 【名詞】 【形容詞】 それからそれへと移る事、又、そのさま よく立廻り働かさま [会話] あつちや い (へ) いたり (行つたり) こつちや い いたり テンテンと 変る、移動する、言う事を、テンテンと 変つて まあ、言うてな。

**でんでん** 【名詞】 葬儀 鉦の音から (志 (布施田)) [会話] 葬式の事なあ (です)。今日は テンテンな (が) 有つて言うて 言いおつたなあ (言っていました)。テンテンへ 行かな (行かなければ) はざんね (いけないのです) 言うて。

**でんでん (点点)** 【名詞】 斑点 (熊) [会話] ちよぼ 打つのを、あつちや (あちら) や、こつちや (こちら) い (に)、テンテンな (が) あんねよお (有るので) 言うて、こららな (子供が) なんやかや (いろいろ) こぼして テンテン だらけやない (だ) 言うて。

**でんでん (転転)** 【名詞】 【形容詞】 よく歩く事 はるばる (上、阿) [用例] 御座の不動さん 行くのん (のに) テンテン歩いて いきよおつた (行つて居ました)。

**でんでん (手手)** 【名詞】 それぞれ 各自に 各人 めいめい でんでに 参照

**でんでんする** あちらこちらへ移る 寝返りを繰り返す

**でんでんのしゃくしみたいなかお** 【俚諺】 器量の悪い人 [会話] でんでん (葬式) のしゃくし (杓子)、まるくたあい (丸い) 中な (中央が) へつこんどのおな (へこんでいるのが) それを例えて 器量のわり (悪い) 人な (が) テンテンノシャクシミタイナカオ。

**でんでんばらばら** 各自勝手、ばらばらの状態

**でんでんまあり** 【名詞】 時計回りに廻る事

**でんでんむし** 【名詞】 かたつむり 蝸牛 ででむしの変化した語 (三重県全域、志 (国府、畔名、神明、安乗、浜島、波切、鶴方)、鳥 (神島、桃取、坂手、答志)) [会話] デンデンムシムシ 角出せ 槍出せ。かたつ

むりの事を デンデンムシ。にげ(人間)でも こんじょ(根性)な(が)あっても、出さんと(出さないで) おると(いると)かたつむりに例えて 有る角も出さねば 丸しかたつむり”言うて 堪忍の ええ(よい)人の事を そげん(そんなに) 言うわい(言います)。

**てんでんもおとる** 忙しい状態 あちらこちらと駆け回って居る

**てんとさん【名詞】** 天道様 てんと おてんとさん 太陽 [会話] おひいさん(太陽)の事をな。オテントサン 拝め、言うてなあ。しんのけつ(尻の穴) オテントサン 拝んだ事は無い言うて。下向いとて(ていて)、空向かんと(向かずに)言うてな。

**てんとむし(てんたうむし)(天道虫)【名詞】** テントオ虫科の甲虫の総称 体は半球状 背面は赤地に黒の斑点のあるものや黒地に赤の斑点の有るものがある。益虫 [会話] まるくたい(丸い) の(のです) ちよぼちよぼな(が) あんのなあ(有るのです) テントムシ あんな(あれが) 出て来ると 春や(です)

**てんどり(手水取)【名詞】** 茶釜 てとり 手取 湯を沸かす道具 罐子(かんす) (志(布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、上、阿、鳥) [会話] かんす(罐子) 罐子と茶釜 文福茶釜 テンドリ言うて 茶釜 くど(火を炊く場所)が、三つ有って、そのまんなか(真中) テンドリ据えて、首な(が)短いと テンドリに首すげた(付いた) よおなにげやなあ(人間だ) 言うて。文福茶釜の 茶釜、真中にして、あれを テンドリや(だ) 言うて、そして こびしゃくや(だ) 言うて 汲むのを 据えて。

**てんね【名詞】** 丁寧 手厚く親切な事 注意深く念入りである事

**でんね。でんねてや** 出るのだ てやは強調 [会話] ばけもんな(化け物が) である言うのを、あじこん(あすこに) ばけもんな デンネテヤ 言うて

**てんねんパアマ【名詞】** 生来の縮れ毛

**てんねんもん【名詞】** 天然物 自然の力で大きになったり、増えたりした物 人の力の加わっていない物 よおしょくもんに対して。

**でんのが** 1) 出ないのだ 2) 出るのだ [用例] 2) 化物な(が) デンノヤ。

**てんば【名詞】** 上部の面(鳥(鳥羽)、員、張) [会話] テンバ 張れ 言うやんかい(言います) コンクリして 撫でてすんの(するのを) テンバ えごと(完全に) 張つとけよお(おてけ) 言うてな

**でんばた【名詞】** 田畑(北)

**てんばち(天罰)【名詞】** てんばつ 悪事の報いとして 自然に来る禍(津)

**てんばち** 駄駄 無理を言う [会話] 此れ もてけ(持っていけ) 言うたや(言ったら) いなん(要らぬ) 言うて テンパチコンパチ はろて 置いといて(置いておいて) 行たない(行った) 言うて、テンパチコンパチ。

**てんばちこんばち** 腹の立つ状態 てんばちごんばちの格好で使用される [会話] テンパチコンパチ はろた(払った) 言うて。なんか(何か) 持てたや(持っていたら) まあ(もう) ええてや(よろしい・要りません) おらげや(俺家は) まあ ええてや 気の毒やよってん(だから) 有んねよってん(あるのだから) 言うて、どげん(どんなに) 言うても その後は まあ テンパチで、おんな(俺が) やる(あげます) 言うても テンパチコンパチ はろて(払って) 言うて 言うのなあ(言います)。

**てんばちこんばちはらう** 激しく拒絶する てんばちこんばち参照(志(布施田))

**てんび(天日)【名詞】** 日光 太陽(張) [会話] テンビに乾かす 言うの(のです)。

**てんびになつとる。てんびんになつとる** 平になつて居る

**てんぼ【名詞】** 手仕事の下手な人 てづちのてんぼ参照(志、鳥)

**てんぼ【名詞】【形容詞】** 大変な 非常に 甚だしい事(志(御座)、阿) [会話] こや(これは) テンボな もんや(物だ) 言うて、びっくりするよおな たいした(大変な) もんやなあ(物だ) 言うねやろなあ(言うのでしょ)。 こや テンボな もんやなあ 言うて。 こや まあ テンボな うまいのお(美味しいです) とか 言うやんかい(言います) テンボン(に) うまいのお 言うて。テンボな 言う時と テンボン 言う時と 一緒やけど(だが)、テンボン 言うて “ん” 付ける やんな(でしよう)。テンボン 美味しいなあ言う 人と、テンボに 美味しいなあ 言う人も有るし。その人に依って おなし(同じ) 意味やけど(だが)。テンボな事や(です) こや(これは) 言うて、びっくりした時に 言うなあ(言います) テンボな 言うて。 そや(それは) どおやの(どうですか) 言うと、 そや(それは) テンボな 言うて 言うやんかい(言うで有りませんか) 男の人ら 達(達)。びっくりするよおな事を 言うんなあ(言います)。 そやよって(それだから) テンボン美味しい 言う事も びつ

くりするほど 美味しい 大変美味しい 言う事やわいなあ (です) 食べる時は。

**てんぼせん (天保銭) 【名詞】** 馬鹿者 間抜け 能無し 明治以降 天保銭は八厘となり 一銭に満たない事より足りないもの 馬鹿の意となった。[会話] テンボセンなあ (ですか)、人間な (が) まるくたい (丸い) 人を あや (彼は) テンボセンやよって (だから) 言うしなあ (のです)。あや (彼は) テンボセンで まるくたい (馬鹿正直) ねよってん (のだから) 言うて、足らん人 (十に致らない人) を テンボセン やどお (だ) 言うて。

**てんぼな** 大変な とんでもない (志 (越賀、布施田、鶴方、志島、国府、安乗、甲賀)、鳥、松、上、阿、伊) [会話] テンボナ 美味かったよお 言うてな、なんやかや (いろいろと) 美味しいと。そして よけ (沢山) もろて (貰って) テンボン (に) よけ (沢山) くれたんなあ (くれたのですね) 言うて、物凄おびつくりした時でも まあ (それは) そや テンボナ 事やなあ (だ) 言うて、立派なもん (物) が 有っても こやまあ (これは) テンボナ もんや なあ 言うしなあ。

**てんぼなこと** 大変な事

**てんぼに** 非常に 大変に (志、上、阿、伊) [会話] テンボン、美味かったね (のだ)、テンボニにも、テンボンも 一緒や (です)。

**てんぼもない** 法外な とんでもない (志 (志島)、津、松、上)

**てんぼん** 大変に 非常に (鳥) [会話] ごっつお (御馳走) な (が) 美味しいと、おおた テンボン 美味しいなあ言うて テンボニ 美味しいよお言うたり テンボニ言うのも テンボンも一緒や (です)。

**てんま (伝馬) 【名詞】** 1) 伝馬船 小型の日本型和舟で、船首は尖り船尾は角型をする櫓艇の一種 港内、河川のような 静かな所で交通作業 その他雑用に使われ、船舶に積載され救命用、交通用に使われる事も多い 伝馬の運送の意を受けた語 (統国語語源辞典) (志 (浜島 布施田)、鳥 (答志、鳥羽)、桑郡、桑市、亀、阿、度、北、尾、南) 2) 子供 親にばかり付き添っている子供 (伊) [会話] 1) テンマ言うて はしけの代わりに おっきい (大きい) 船へ せどり (船と陸との連絡) する。にげなあ (人間が) 降りたり乗ったり、荷物なあ (を) ちよいとしたの (小さいのです)。養殖屋 (真珠養殖場) でも その、テンマ 使いおったやんかい (使って居たで有りませんか)。

ちよいとしたのおへ 金網積んだり なんやかやなあ (色々)、貝掃除したり 貝を揚げたり 降ろしたり すんのん (するのに) テンマで 行たり来たり すんなあ (します)。2) それから 親な (が) 子供を連れて行くと あや (彼女は) テンマも 連れて来たんなあ (来た) 言うて。

**てんま (天窓) 【名詞】** 屋根につけた窓 採光、換気の目的で屋上に設けられた窓 てんまどの略 (志 (志島)、鳥 (坂手 国崎 神島 答志)、伊、津) [会話] テンマなあ (です) 屋根の。

**てんまじょおり 【名詞】** 足に合わない大きな草履 [会話] 子供な (が) どいらいの (大きいのを) 履いて 大人のお (ののを) 履くと 尻な (が) 余つとるやんない (余っているでしょう)。伝馬い (に) 乗った よおん (ように) しとるやんない (しているでしょう)、テンマジョオリ 履いて あやれ (あれ)。

**てんまづれ** 子連れの再婚 (南)

**てんまのこし 【名詞】** 1) 玉の輿 2) 大切に育てる [会話] 1) ええ (よい) 家い (に) 嫁に行くと テンマノコシ やなあ (だ) 言うて テンマノコシ 乗った言うて。テンマノコシ 言うて ものすごお (ものすごく) ええ (よい) 家の事 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。テンマノコシや (だ) 言うてなあ 長者の家い (へ) 嫁ん (に) いて (行って) テンマノコシや (だ) 言うて。2) 大事にする言うのも テンマノコシ して言うて 子供ら (達) を 大事にすると そやまあ (それは) しまいご (末子) で テンマノコシやなあ (だ) 言うて。

**てんめえ (てんめい) 【名詞】** 天命 天の定めた人間の寿命 天寿 てんめいの訛 [会話] テンメエの、つけな (が) 来たんなあ (来たのだ) 言うてな、わり (悪るい) 事な (が) 来ると、あや (彼は) まあ 昔 わり事 しとるよってん (しているから) テンメエの つけな (が) 来たんやれ (のだ)、ばち (罰) な (が) 当って テンメエのつけ や 言うて。あれも (彼も) まあ、テンメエやれ (だ) 言うてな 寿命や (だ) 言う事をな。

**てんや (店屋) 【名詞】** 飲食店

**てんやもん 【名詞】** 飲食店で供されるうどん、そば、井物等 (志)

**てんりん。てんりんきよお 【名詞】** 天理教 [会話] 天理教の事 テンリンキョオ や (だ) 言うて。天理教 や (だ) 言わんと (言わずに) テンリンキョオや (だ) 言うてな。